

笠岡市

市民意識調査報告書

平成22年12月28日

笠岡市政策部企画政策課

# 目 次

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査方法と回収結果	1
II. 重要度・満足度調査結果	2
1. 重要度・満足度からみた課題の分析	2
2. 満足度からみた課題の分析	6
3. 重要度からみた課題の分析	8
4. 居住地域ごとの重要度・満足度	10
5. 笠岡市の住み心地ごとの重要度・満足度	14
6. 笠岡市への定住意向ごとの重要度・満足度	16
III. 施策指標値調査結果	18
1. 施策分野ごとの指標値	18
2. 回答者の「居住の経緯」による分析	21
3. 個別分析及び回答者の属性による分析	24
IV. 住みやすさ意識調査結果	35
1. 笠岡市の今の住み心地について	35
2. 定住意向について	37
V. 回答者の属性	39
1. 性別	39
2. 年齢	39
3. 居住経緯	40
4. 現在お住まいの住居	40
5. 笠岡市にお住まいの経緯	41
6. 職業	41
7. 家族構成	41
8. パソコンの所有と利用状況	43
9. 笠岡市のホームページの閲覧状況	45
10. 笠岡市のホームページに必要な情報	46

## I. 調査の概要

### 1. 調査の目的

笠岡市では、地域の課題に対する市民のみなさまの重要度や満足度、市の提供するサービスや施設の満足度についてご意見をうかがい、今後の市政運営に役立てることを目的としてこの調査を実施しました。

### 2. 調査方法と回収結果

#### (1) 調査地区

岡山県笠岡市全域

#### (2) 調査対象

市内在住の18歳以上の男女3,000人

#### (3) 抽出方法

平成22年7月1日現在 満18歳以上の市民から無作為抽出。

#### (4) 調査方法

調査票を郵送にて配布し、郵送にて回収。

#### (5) 調査期間

平成22年7月9日～7月30日

#### (6) 回収結果

抽出数	有効回答数	有効回答率
3,000人	1,433人	47.8%

#### (7) 留意点

- ① 結果は百分率で表示しました。百分率は小数点第2位を四捨五入したため、比率の合計が100%と一致しない場合があります。
- ② 一部の人を対象とする質問では、質問該当者数を分母にして算出しました。
- ③ 複数回答の百分率の合計は、100%を超えます。
- ④ 二重回答や判読不能の回答などは、無回答に含めています。

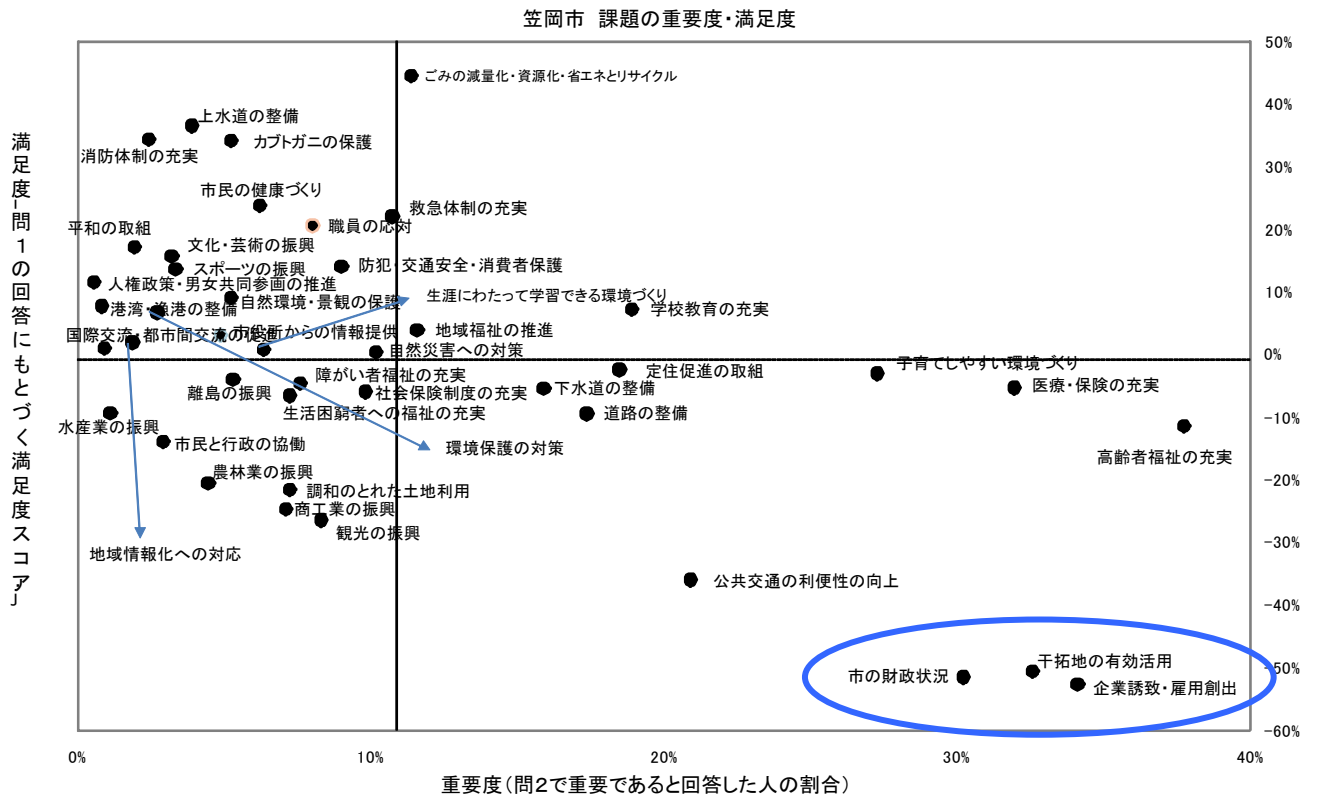
## Ⅱ. 重要度・満足度調査結果

### 1. 重要度・満足度からみた課題の分析

横軸に重要度，縦軸に満足度を取り，重要度の平均値（10.89%）と満足度の平均値（-0.80%）を交点としたグラフに，各アンケート項目をプロットする形式で示しました。重要度，満足度の算出方法は以下のとおりです。

重要度：当該課題が重要であると選択した人の割合（選択件数／有効回答者 1,433 件）

満足度：「満足率（「満足」，「まあ満足」と回答した人の割合）」から「不満率（「やや不満」，「不満」と回答した人の割合）」を控除した数値（以下「満足度スコア」という。）



重要度が高いにもかかわらず満足度が低い課題は「企業誘致・雇用創出」「干拓地の有効活用」「市の財政状況」という結果になりました。

《参考》前回（平成20年度）実施した調査の重要度・満足度調査結果

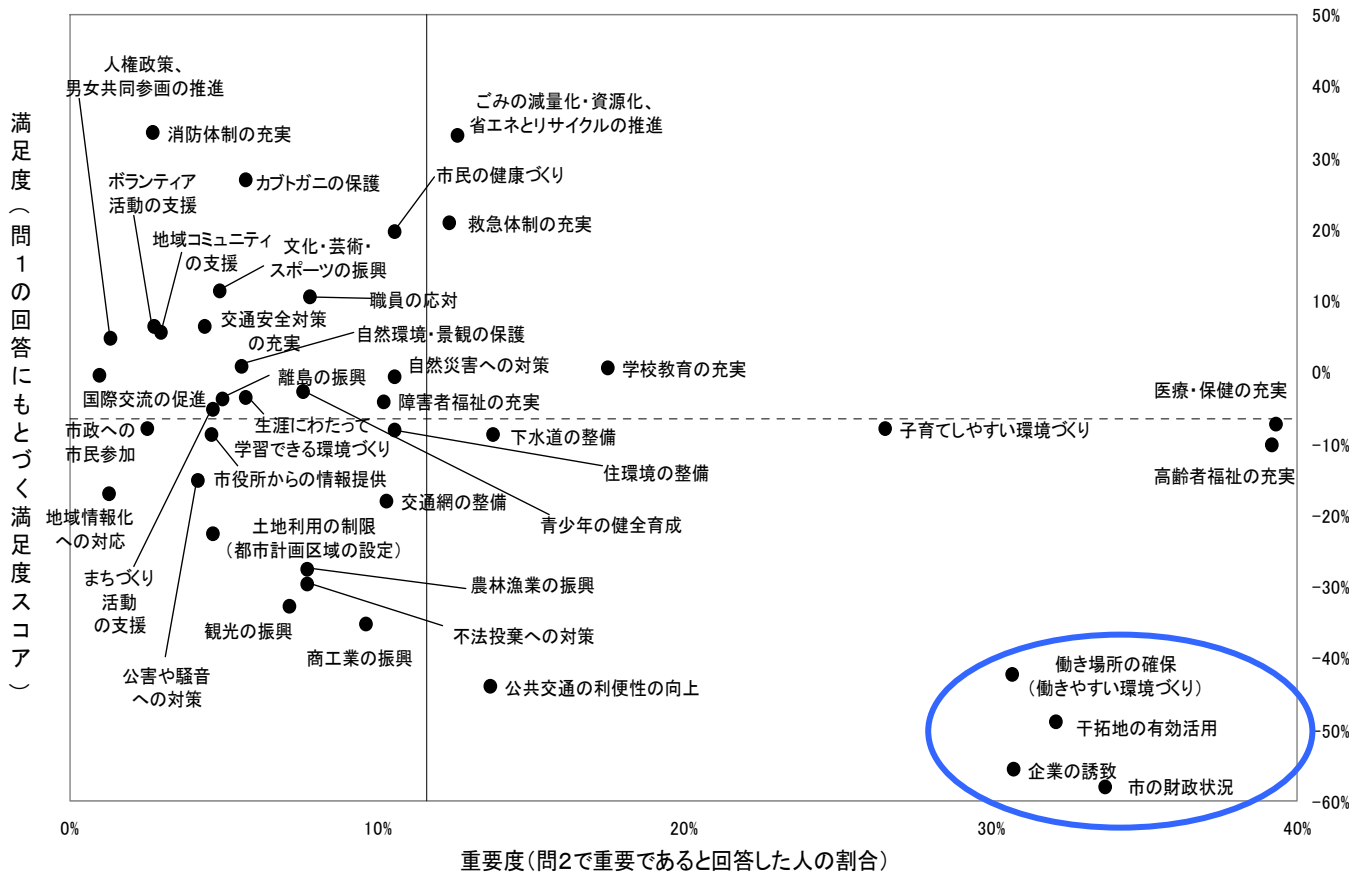
横軸に重要度，縦軸に満足度を取り，重要度の平均値（11.68%）満足度スコア0を交点としたグラフに，各アンケート項目をプロットする形式で示しました（満足度の平均値-8.72 は点線で示してあります）。

重要度，満足度の算出方法は以下のとおりです。

重要度：当該課題が重要であると選択した人の割合（選択件数／有効回答者 1,406 件）

満足度：「満足率（「満足」，「まあ満足」と回答した人の割合）」から「不満率（「やや不満」，「不満」と回答した人の割合）」を控除した数値（以下「満足度スコア」という。）

笠岡市 課題の重要度・満足度



前は、重要度が高いにもかかわらず満足度が低い課題は「市の財政状況」「企業の誘致」「干拓地の有効利用」「働き場所の確保(働きやすい環境づくり)」という結果でした。

課題ごとの重要度（問2で重要であると回答した人の割合）、満足度（問1の回答に基づく満足度スコア）は以下のとおりです。

（新）は平成22年度に新設した項目で、重要度・満足度欄の（ ）は平成20年度の数値です。

総合計画大綱	課 題	重要度	満足度
定住促進	定住促進の取組（新）	18.5% （ - ）	-2.4% （ - ）
安全で快適な まちづくり	調和のとれた土地利用(土地利用の制限)	7.3% （4.7%）	-21.5% （-22.6%）
	自然環境・景観の保護	5.2% （5.6%）	9.1% （0.8%）
	公共交通の利便性の向上	20.9% （13.7%）	-35.9% （-44.0%）
	道路の整備	17.4% （10.3%）	-9.4% （-18.1%）
	港湾・漁港の整備（新）	0.8% （ - ）	7.7% （ - ）
	上水道の整備（新）	3.9% （ - ）	36.6% （ - ）
	下水道の整備	15.9% （13.8%）	-5.4% （-8.8%）
	自然災害への対策	10.2% （10.6%）	0.5% （-0.9%）
	消防体制の充実	2.4% （2.7%）	34.4% （33.4%）
	ごみの減量化・資源化・省エネとリサイクル	11.4% （12.7%）	44.5% （33.1%）
	防犯・交通安全・消費者保護（新）	9.0% （ - ）	14.1% （ - ）
	地域情報化への対応	1.9% （1.3%）	2.0% （-17.1%）
	環境保護の対策（新）	2.7% （ - ）	6.8% （ - ）
	カブトガニの保護	5.2% （5.8%）	34.2% （26.8%）
心豊かな 人づくり	学校教育の充実	18.9% （17.6%）	7.3% （0.6%）
	文化・芸術の振興（分割・新）	3.2% （ - ）	15.7% （ - ）
	生涯にわたって学習できる環境づくり	6.4% （5.8%）	0.8% （-3.6%）
	スポーツの振興（分割・新）	3.3% （ - ）	13.7% （ - ）
	人権政策・男女共同参画の推進	0.6% （1.4%）	11.6% （4.7%）
	平和の取組（新）	2.0% （ - ）	17.2% （ - ）
安心して暮らせる まちづくり	地域福祉の推進（新）	11.6% （ - ）	3.9% （ - ）
	子育てしやすい環境づくり	27.3% （26.6%）	-3.0% （-8.0%）
	市民の健康づくり	6.2% （10.6%）	23.9% （19.5%）
	高齢者福祉の充実	37.8% （39.2%）	-11.4% （-10.2%）
	障がい者福祉の充実	7.6% （10.2%）	-4.5% （-4.3%）
	生活困窮者への福祉の充実（新）	7.3% （ - ）	-6.5% （ - ）
	医療・保険の充実	32.0% （39.3%）	-5.3% （-7.3%）
	救急体制の充実	10.7% （12.4%）	22.1% （20.8%）
	社会保険制度の充実（新）	9.8% （ - ）	-5.9% （ - ）
活気ある まちづくり	企業誘致・雇用創出（統合・新）	34.1% （ - ）	-52.6% （ - ）
	農林業の振興（分割・新）	4.5% （ - ）	-20.5% （ - ）
	水産業の振興（分割・新）	1.1% （ - ）	-9.3% （ - ）
	商工業の振興	7.1% （9.7%）	-24.6% （-35.3%）
	観光の振興	8.3% （7.2%）	-26.4% （-32.9%）
	離島の振興	5.3% （5.0%）	-4.0% （-3.8%）
	干拓地の有効活用	32.6% （32.1%）	-50.5% （-49.0%）
人と人がつながる まちづくり	市民と行政の協働（統合・新）	2.9% （ - ）	-13.8% （ - ）
	国際交流・都市間交流の促進	0.9% （1.0%）	1.0% （-0.6%）
計画実現に 向けた取組	市の財政状況	30.2% （33.8%）	-51.5% （-58.0%）
	市役所からの情報提供	4.9% （4.6%）	3.1% （-8.8%）
	職員の対応	8.0% （7.8%）	20.6% （10.5%）

《参考》前回（平成 20 年度）実施した調査の重要度・満足度（問2で重要であると回答した人の割合）、満足度（問1の回答に基づく満足度スコア）は以下のとおりでした。

分野	課題	重要度	満足度
健康福祉医療について	市民の健康づくり	10.6%	19.5%
	医療・保健の充実	39.3%	-7.3%
	子育てしやすい環境づくり	26.6%	-8.0%
	高齢者福祉の充実	39.2%	-10.2%
	障害者福祉の充実	10.2%	-4.3%
教育・文化について	青少年の健全育成	7.6%	-2.8%
	カブトガニの保護	5.8%	26.8%
	学校教育の充実	17.6%	0.6%
	生涯にわたって学習できる環境づくり	5.8%	-3.6%
	文化・芸術・スポーツの振興 *	4.9%	11.3%
環境について	自然環境・景観の保護	5.6%	0.8%
	ごみの減量化・資源化、省エネとリサイクルの推進	12.7%	33.1%
	不法投棄への対策	7.8%	-29.7%
	公害や騒音への対策	4.2%	-15.2%
生活の安全と基盤について	救急体制の充実	12.4%	20.8%
	消防体制の充実	2.7%	33.4%
	自然災害への対策	10.6%	-0.9%
	交通安全対策の充実	4.4%	6.3%
	交通網の整備	10.3%	-18.1%
	下水道の整備	13.8%	-8.8%
	住環境の整備	10.6%	-8.3%
産業・雇用について	働き場所の確保（働きやすい環境づくり） ※	30.7%	-42.3%
	企業の誘致 ※	30.8%	-55.6%
	農林漁業の振興 *	7.8%	-27.7%
	商工業の振興	9.7%	-35.3%
	観光の振興	7.2%	-32.9%
	公共交通の利便性の向上	13.7%	-44.0%
地域づくりについて	国際交流の促進	1.0%	-0.6%
	まちづくり活動の支援 ※	4.7%	-5.3%
	人権政策、男女共同参画の推進	1.4%	4.7%
	地域コミュニティの支援 ※	3.0%	5.5%
	ボランティア活動の支援 ※	2.8%	6.2%
	市政への市民参加 ※	2.6%	-8.0%
	土地利用の制限（都市計画区域の設定）	4.7%	-22.6%
	離島の振興	5.0%	-3.8%
	干拓地の有効活用	32.1%	-49.0%
地域情報化への対応	1.3%	-17.1%	
市役所の改革	市の財政状況	33.8%	-58.0%
	市役所からの情報提供	4.6%	-8.8%
	職員の応対	7.8%	10.5%

①網掛けは H22 調査では調査対象としていない項目

②\*マークの項目は H22 年度調査において分割したもの

・H20「農林漁業の振興」 → H22「農林業の振興」「漁業の振興」

・H20「文化・芸術・スポーツの振興」 → H22「文化・芸術の振興」「スポーツの振興」

③※マークの項目は、H22 年度調査において統合したもの

・H20「働き場所の確保」「企業の誘致」 → H22「企業誘致・雇用創出」

・H20「まちづくり活動の支援」「地域コミュニティの支援」「ボランティア活動の支援」「行政への市民参加」

→ H22「市民と行政との協働」

## 2. 満足度からみた課題の分析

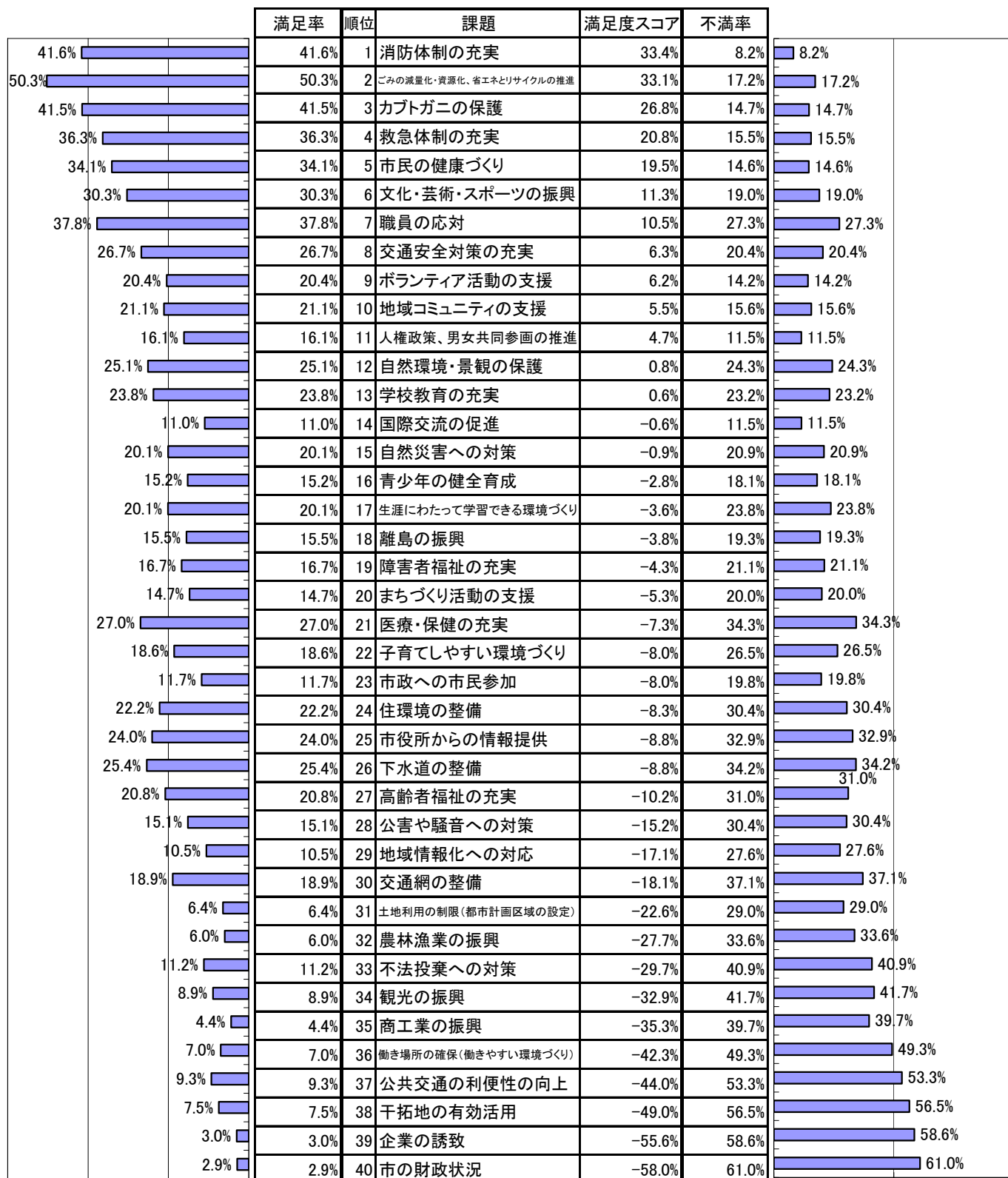
満足度調査（問1「次に示す項目について、笠岡市の現状をどのように思われますか。項目ごとにあてはまる番号を1つずつ選んで○をつけてください。」）では、満足度スコア（満足率－不満率）が最も高かった課題は「ごみの減量化・資源化・省エネとリサイクル推進」で44.5%、最も低かったものは「企業誘致・雇用創出」で-52.6%となりました。

	満足率	順位	課題	満足度	不満率	
	57.0%	1	ごみの減量化・資源化・省エネとリサイクル	44.5%	12.5%	
	51.8%	2	上水道の整備	36.6%	15.3%	
	42.8%	3	消防体制の充実	34.4%	8.4%	
	47.0%	4	カブトガニの保護	34.2%	12.8%	
	36.7%	5	市民の健康づくり	23.9%	12.8%	
	38.8%	6	救急体制の充実	22.1%	16.7%	
	43.3%	7	職員の応対	20.6%	22.7%	
	24.8%	8	平和の取組	17.2%	7.5%	
	29.2%	9	文化・芸術の振興	15.7%	13.5%	
	30.5%	10	防犯・交通安全・消費者保護	14.1%	16.4%	
	28.8%	11	スポーツの振興	13.7%	15.0%	
	20.6%	12	人権政策・男女共同参画の推進	11.6%	9.0%	
	30.5%	13	自然環境・景観の保護	9.1%	21.4%	
	20.1%	14	港湾・漁港の整備	7.7%	12.4%	
	26.7%	15	学校教育の充実	7.3%	19.5%	
	23.7%	16	環境保護の対策	6.8%	16.9%	
	25.8%	17	地域福祉の推進	3.9%	21.9%	
	30.4%	18	市役所からの情報提供	3.1%	27.3%	
	21.3%	19	地域情報化への対応	2.0%	19.3%	
	13.8%	20	国際交流・都市間交流の促進	1.0%	12.8%	
	22.3%	21	生涯にわたって学習できる環境づくり	0.8%	21.4%	
	21.9%	22	自然災害への対策	0.5%	21.4%	
	17.9%	23	定住促進の取組	-2.4%	20.2%	
	22.6%	24	子育てしやすい環境づくり	-3.0%	25.6%	
	16.0%	25	離島の振興	-4.0%	20.0%	
	16.3%	26	障がい者福祉の充実	-4.5%	20.9%	
	25.8%	27	医療・保険の充実	-5.3%	31.1%	
	30.8%	28	下水道の整備	-5.4%	36.2%	
	17.0%	29	社会保険制度の充実	-5.9%	23.0%	
	11.4%	30	生活困窮者への福祉の充実	-6.5%	17.9%	
	7.7%	31	水産業の振興	-9.3%	17.0%	
	31.2%	32	道路の整備	-9.4%	40.6%	
	19.9%	33	高齢者福祉の充実	-11.4%	31.3%	
	12.4%	34	市民と行政の協働	-13.8%	26.2%	
	5.2%	35	農林業の振興	-20.5%	25.7%	
	9.9%	36	調和のとれた土地利用(土地利用の制限)	-21.5%	31.4%	
	6.1%	37	商工業の振興	-24.6%	30.8%	
	10.9%	38	観光の振興	-26.4%	37.3%	
	14.2%	39	公共交通の利便性の向上	-35.9%	50.1%	
	7.5%	40	干拓地の有効活用	-50.5%	58.0%	
	3.8%	41	市の財政状況	-51.5%	55.3%	
	2.9%	42	企業誘致・雇用創出	-52.6%	55.5%	



《参考》前回(平成20年度)実施した満足度調査結果

満足度調査(問1「次に示す項目について、笠岡市の現状をどのように思われますか。項目ごとにあてはまる番号を1つずつ選んで○をつけてください。’)では、満足度スコア(満足率—不満率)が最も高かった課題は「消防体制の充実」33.4%、最も低かったものは「市の財政状況」で-58.0%でした。



### 3. 重要度からみた課題の分析

重要度調査（問2「あなたは、笠岡市にとって、次に示す項目のうち何が重要な課題だと思いますか。重要だと思うものを5つまで選んで、番号に○をつけてください。」）で最も重要度が高い結果になった課題は「高齢者福祉の充実」541件（37.8%）、次いで「企業誘致・雇用創出」489件（34.1%）、「干拓地の有効活用」467件（32.6%）となりました。



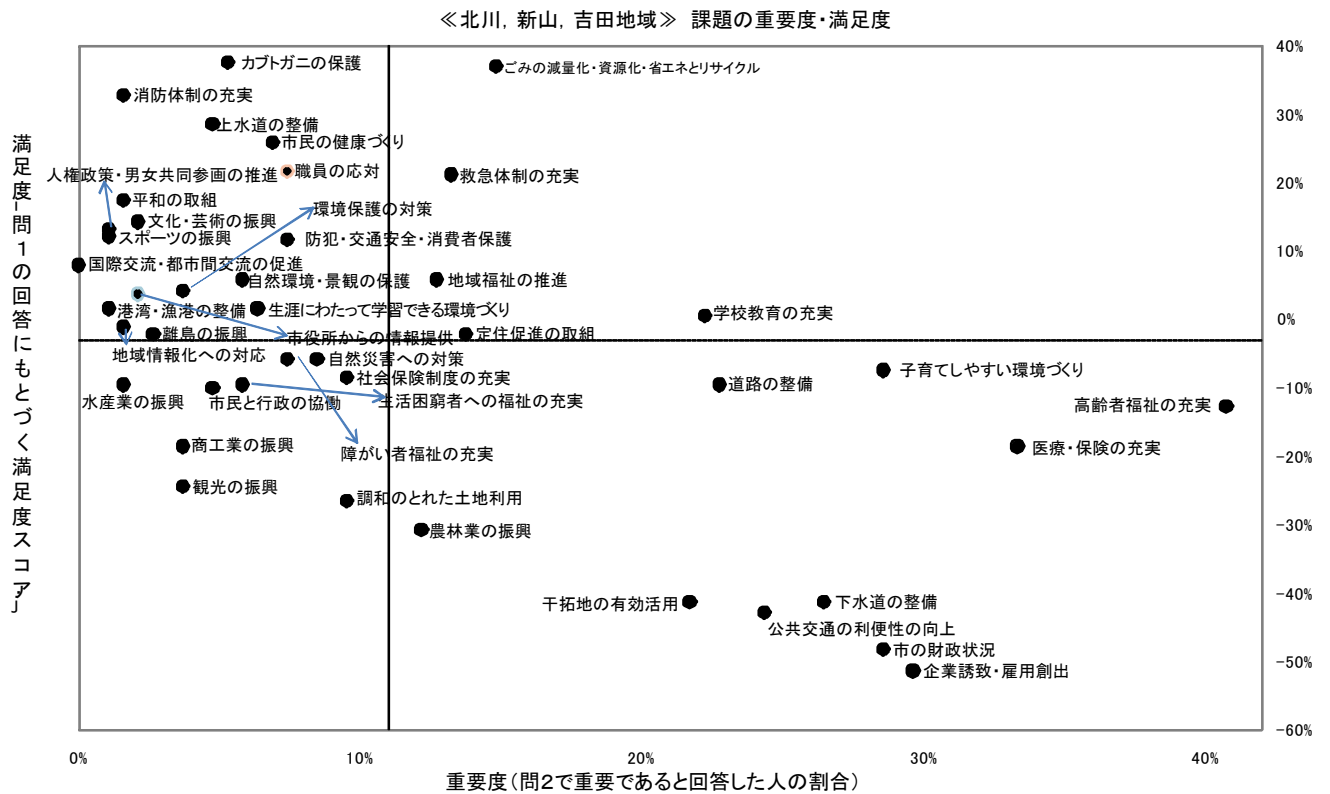
《参考》前回(平成 20 年度)実施した重要度調査結果

重要度調査(問2「あなたは、笠岡市にとって、次に示す項目のうち何が重要な課題だと思いますか。重要だと思うものを5つまで選んで、番号に○をつけてください。')で最も重要度が高い結果になった課題は「医療・保健の充実」553 件(39.3%), 次いで「高齢者福祉の充実」551 件(39.2%), 「市の財政状況」475 件(33.8%)でした。

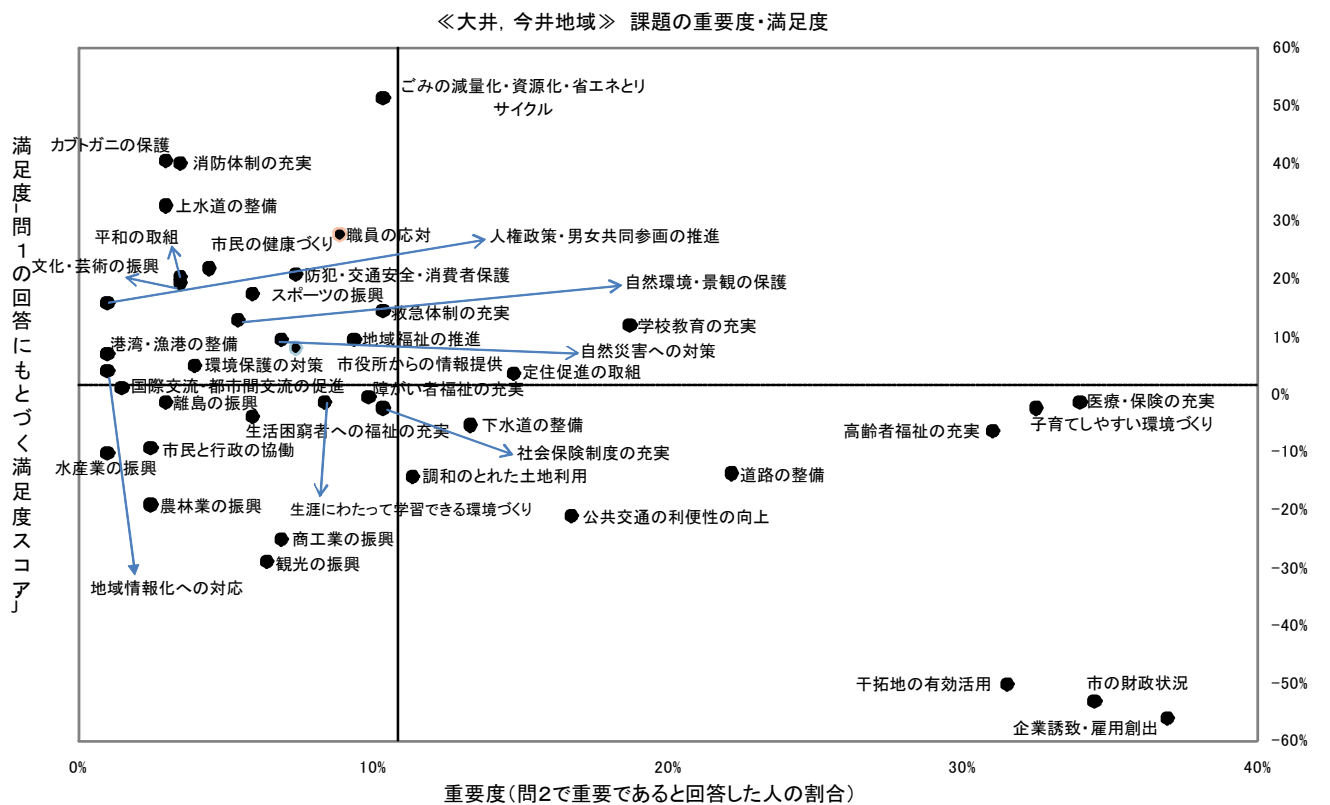
順位	課題	件数	回答率
1	医療・保健の充実	553	39.3%
2	高齢者福祉の充実	551	39.2%
3	市の財政状況	475	33.8%
4	干拓地の有効活用	452	32.1%
5	企業の誘致	433	30.8%
6	働き場所の確保(働きやすい環境づくり)	432	30.7%
7	子育てしやすい環境づくり	374	26.6%
8	学校教育の充実	247	17.6%
9	下水道の整備	194	13.8%
10	公共交通の利便性の向上	193	13.7%
11	ごみの減量化・資源化、省エネとリサイクルの推進	178	12.7%
12	救急体制の充実	174	12.4%
13	市民の健康づくり	149	10.6%
13	自然災害への対策	149	10.6%
15	住環境の整備	149	10.6%
16	交通網の整備	145	10.3%
17	障害者福祉の充実	144	10.2%
18	商工業の振興	136	9.7%
19	職員の対応	110	7.8%
20	不法投棄への対策	109	7.8%
20	農林漁業の振興	109	7.8%
22	青少年の健全育成	107	7.6%
23	観光の振興	101	7.2%
24	カブトガニの保護	81	5.8%
24	生涯にわたって学習できる環境づくり	81	5.8%
26	自然環境・景観の保護	79	5.6%
27	離島の振興	70	5.0%
28	文化・芸術・スポーツの振興	69	4.9%
29	まちづくり活動の支援	66	4.7%
29	土地利用の制限(都市計画区域の設定)	66	4.7%
31	市役所からの情報提供	65	4.6%
32	交通安全対策の充実	62	4.4%
33	公害や騒音への対策	59	4.2%
34	地域コミュニティの支援	42	3.0%
35	ボランティア活動の支援	39	2.8%
36	消防体制の充実	38	2.7%
36	市政への市民参加	36	2.6%
38	人権政策、男女共同参画の推進	19	1.4%
39	地域情報化への対応	18	1.3%
40	国際交流の促進	14	1.0%

#### 4. 居住地域ごとの重要度・満足度

##### (1) 北川, 新山, 吉田地域の重要度・満足度

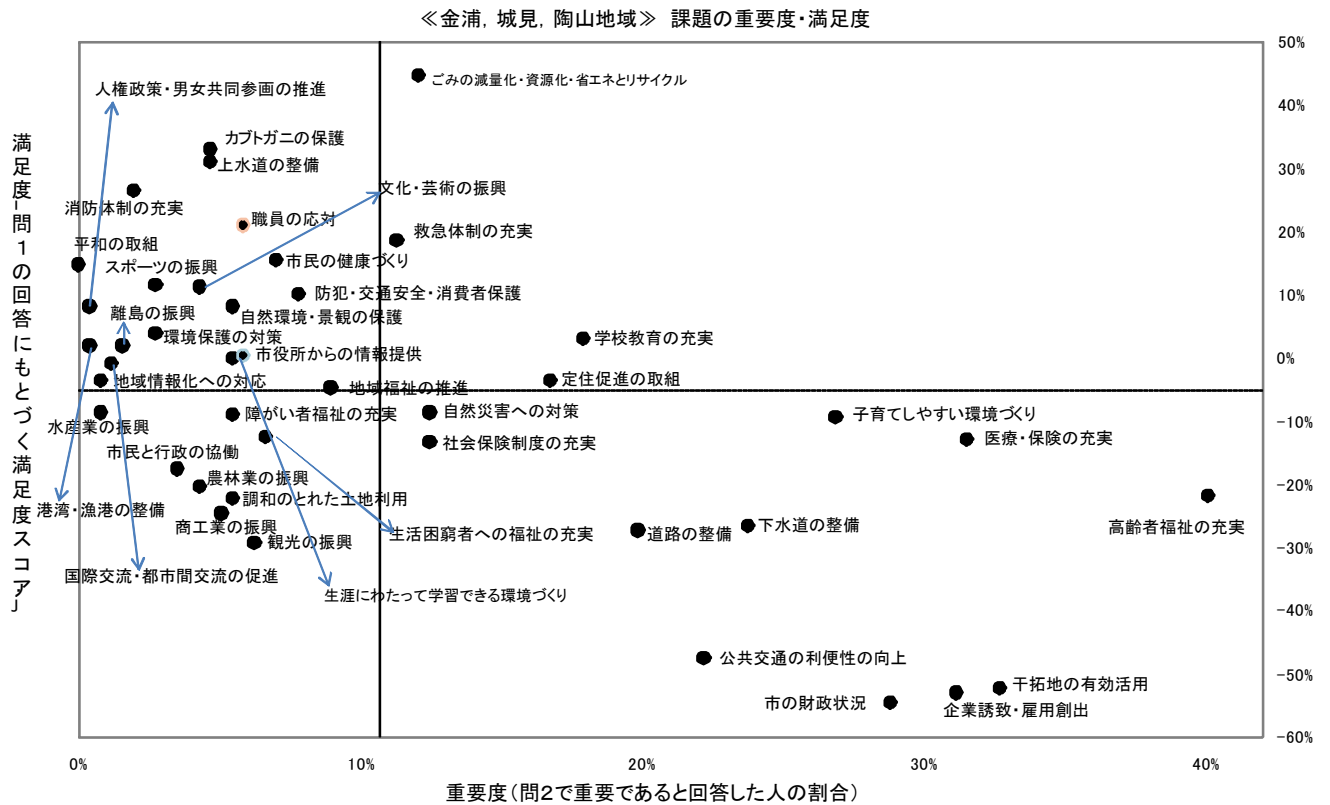


##### (2) 大井, 今井地域の重要度・満足度

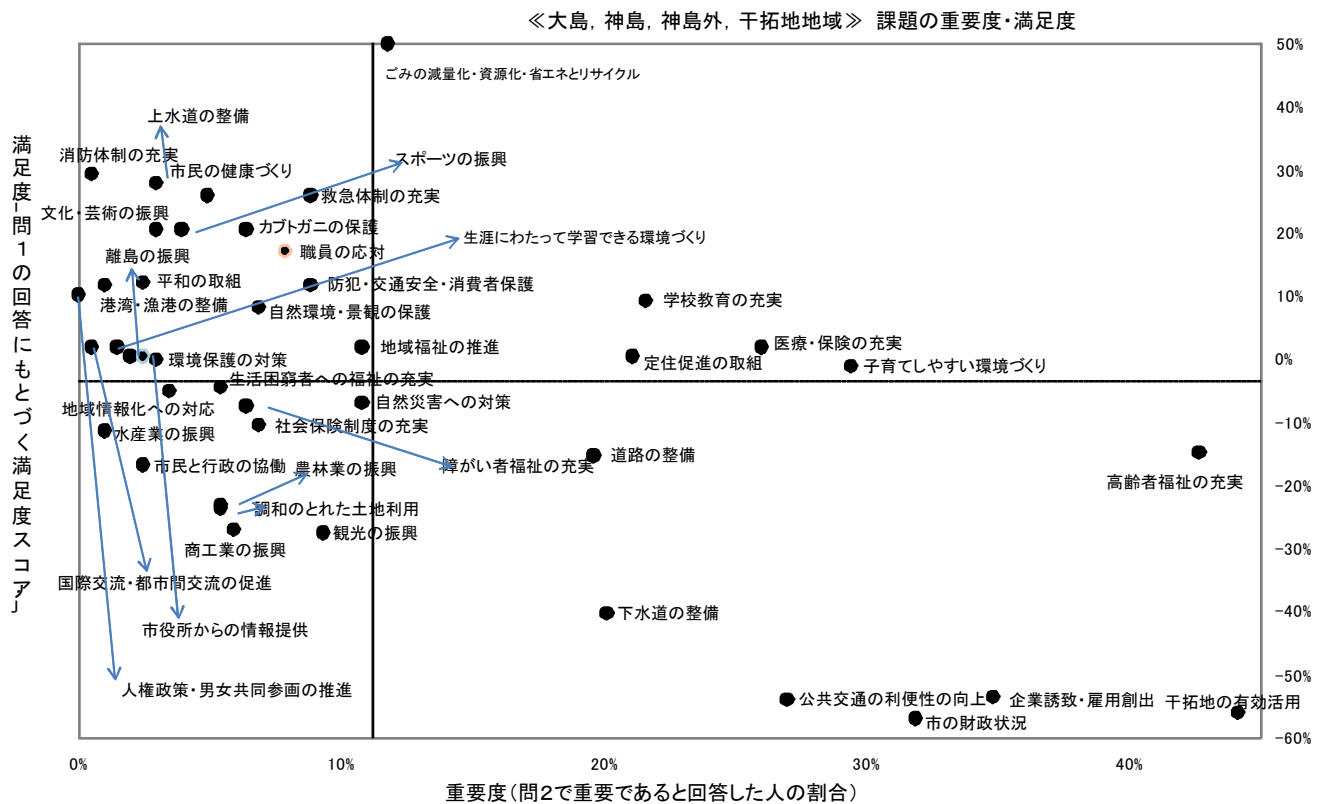




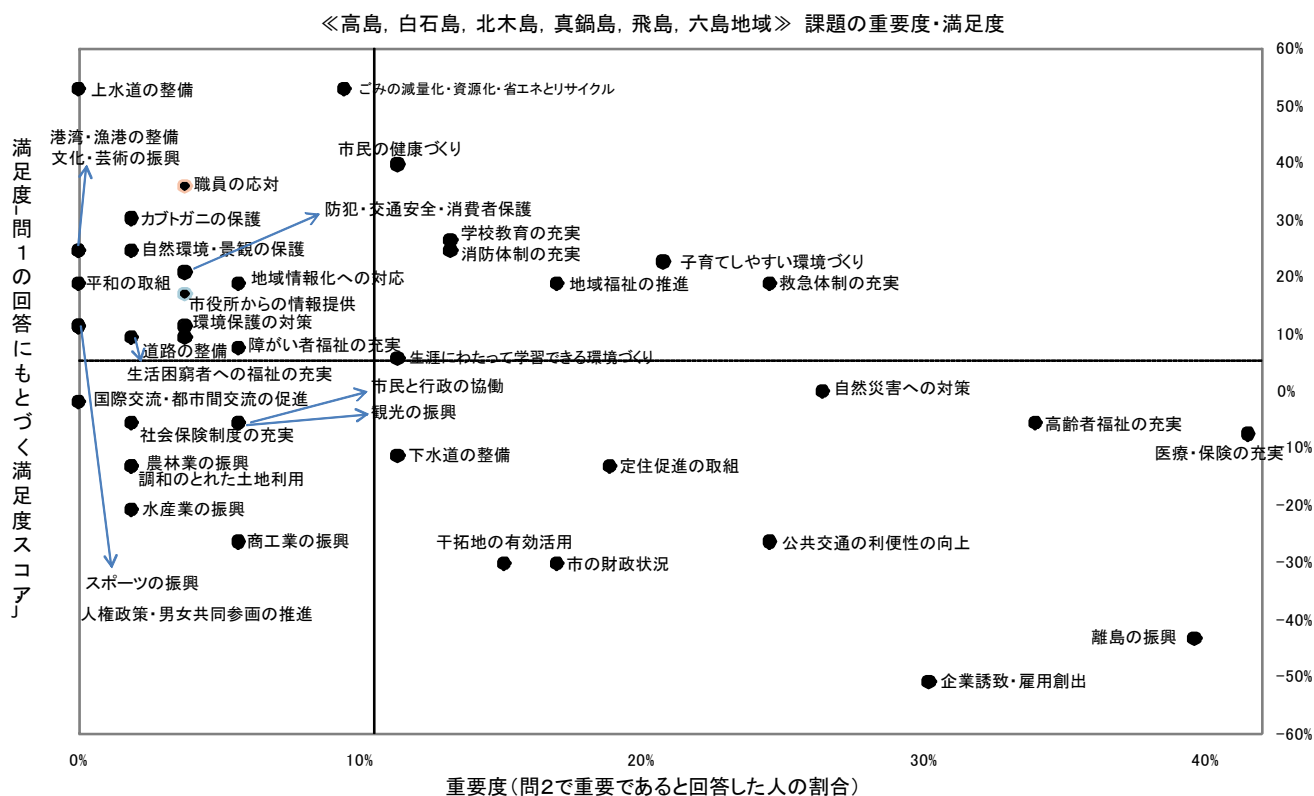
(5) 金浦, 城見, 陶山地域の重要度・満足度



(6) 大島, 神島, 神島外, 干拓地地域の重要度・満足度



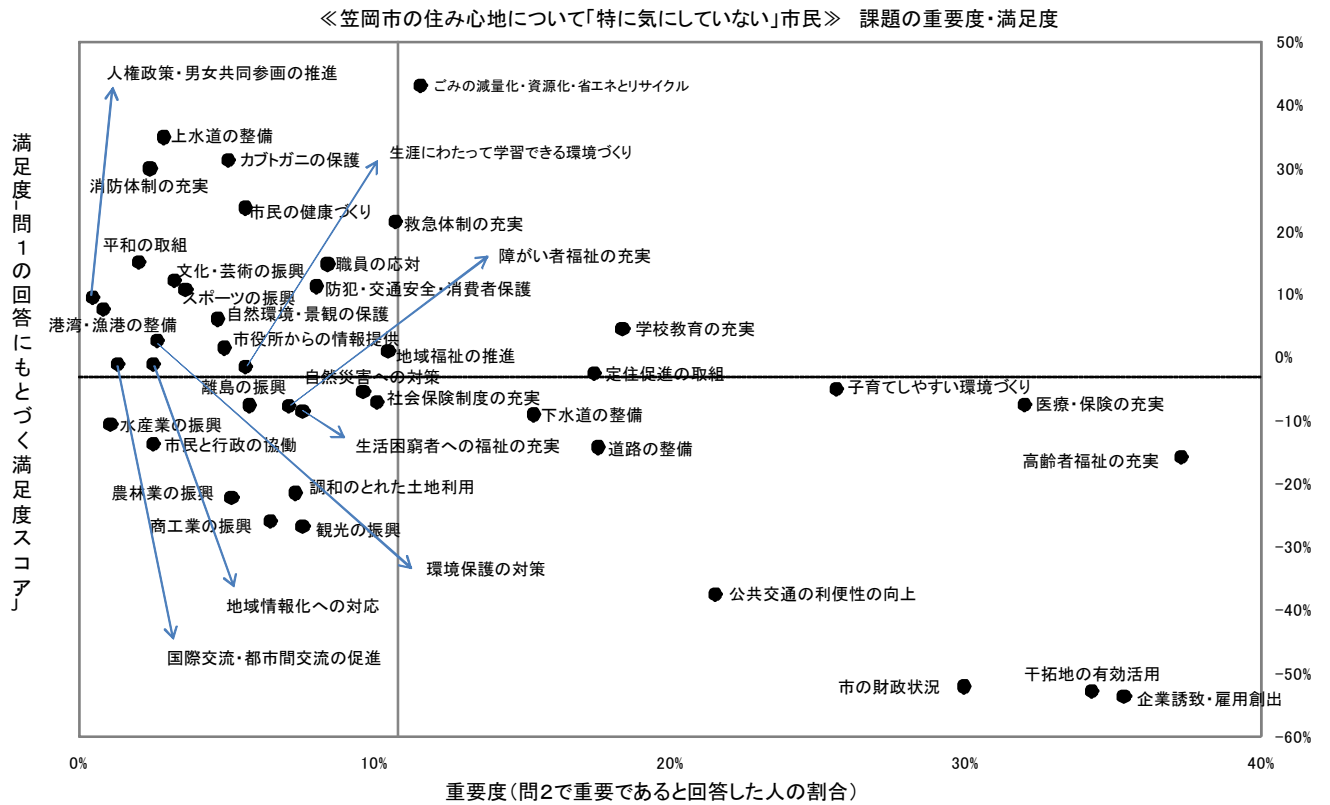
(7) 高島, 白石島, 北木島, 真鍋島, 飛島, 六島地域の重要度・満足度





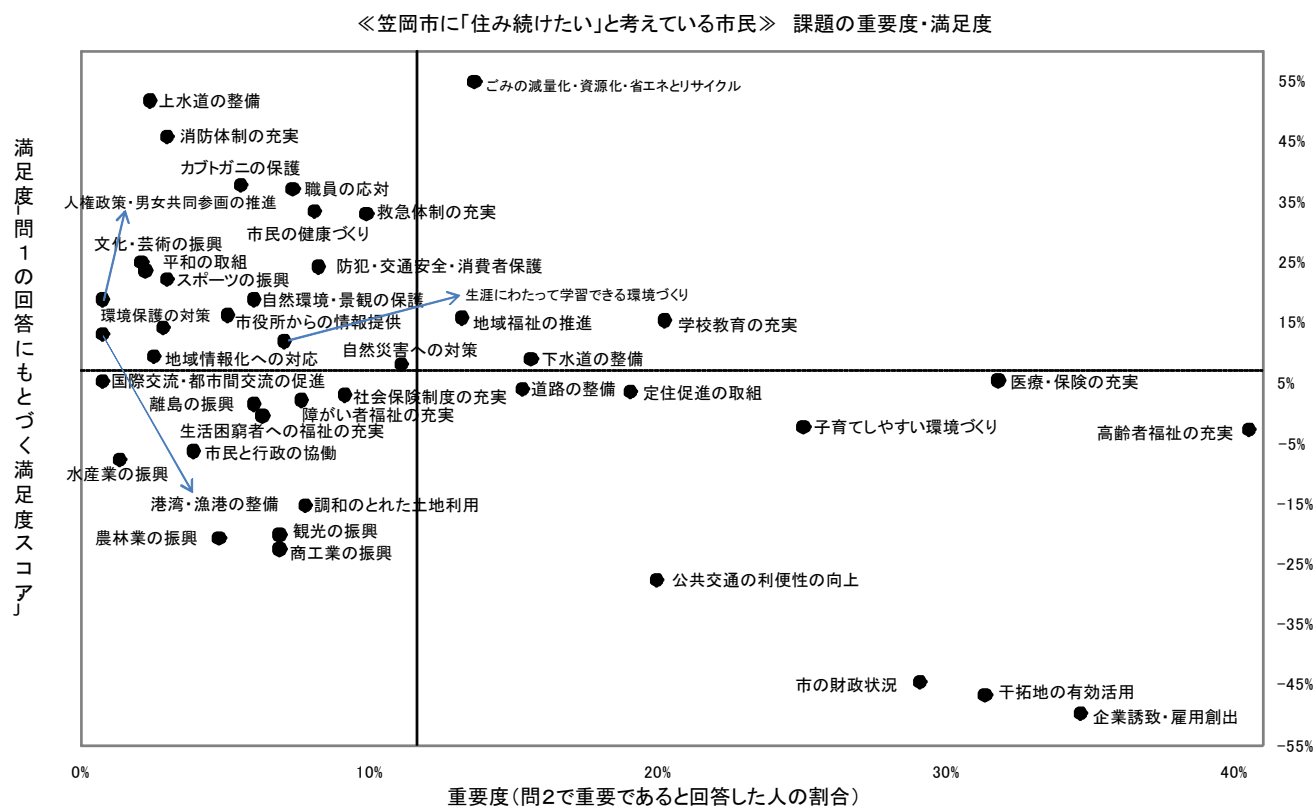


### (3) 「特に気にしていない」市民の重要度・満足度

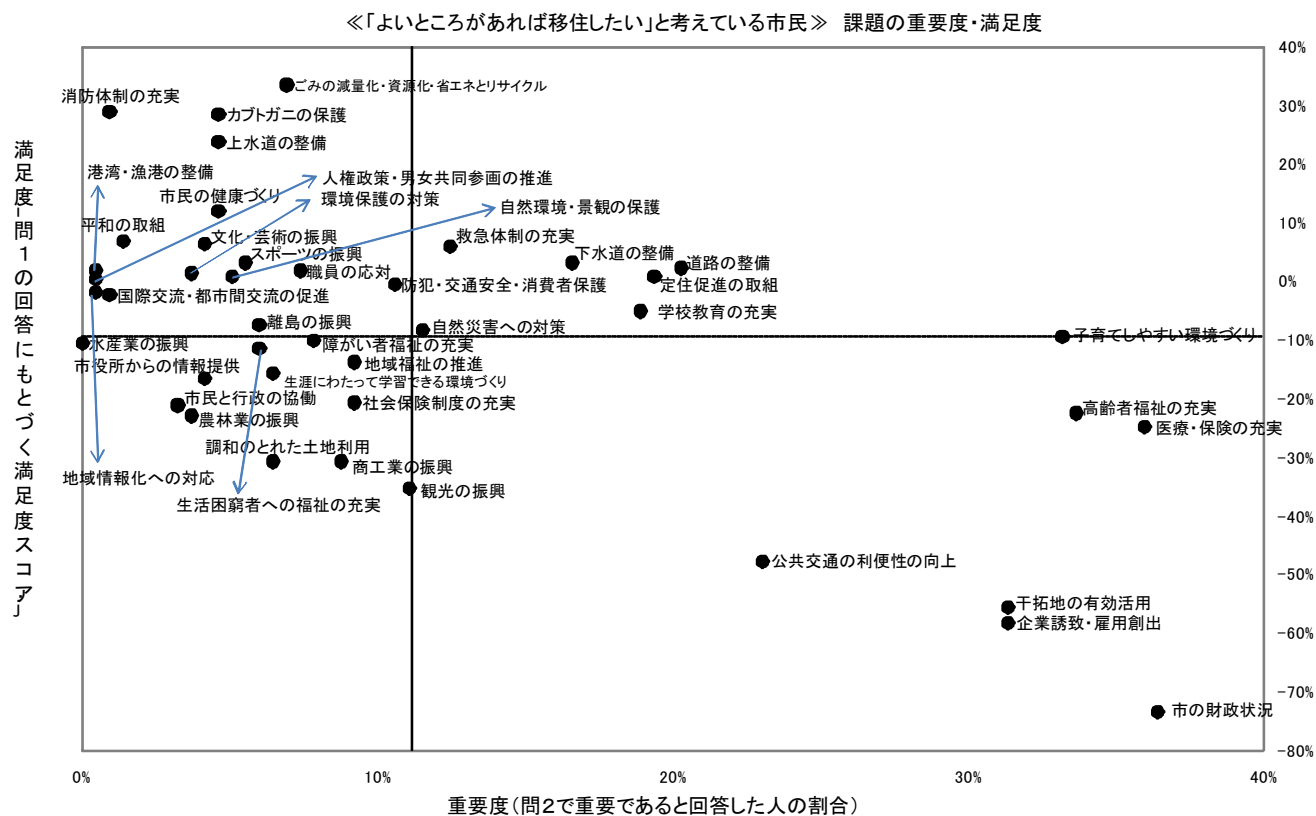


## 6. 笠岡市への定住意向ごとの重要度・満足度

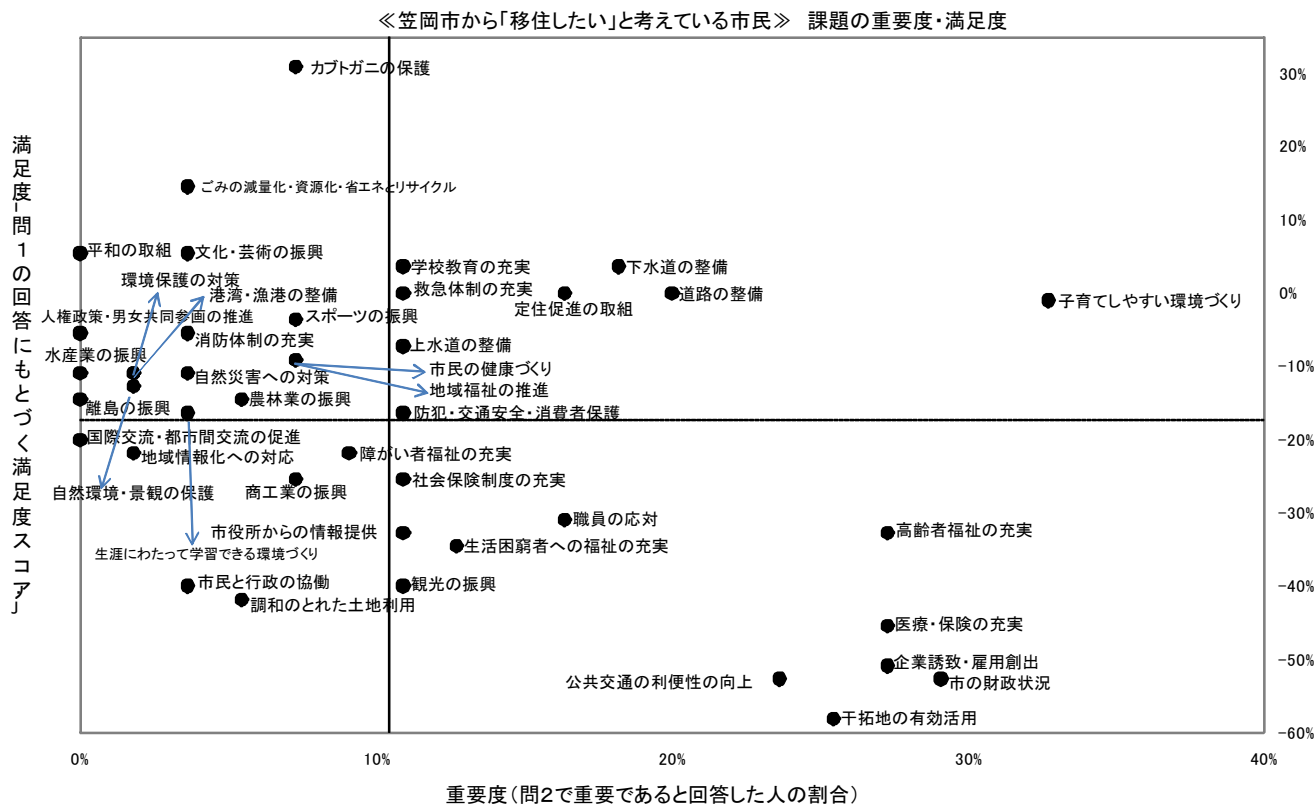
### (1) 「住み続けたい」と考えている市民の重要度・満足度



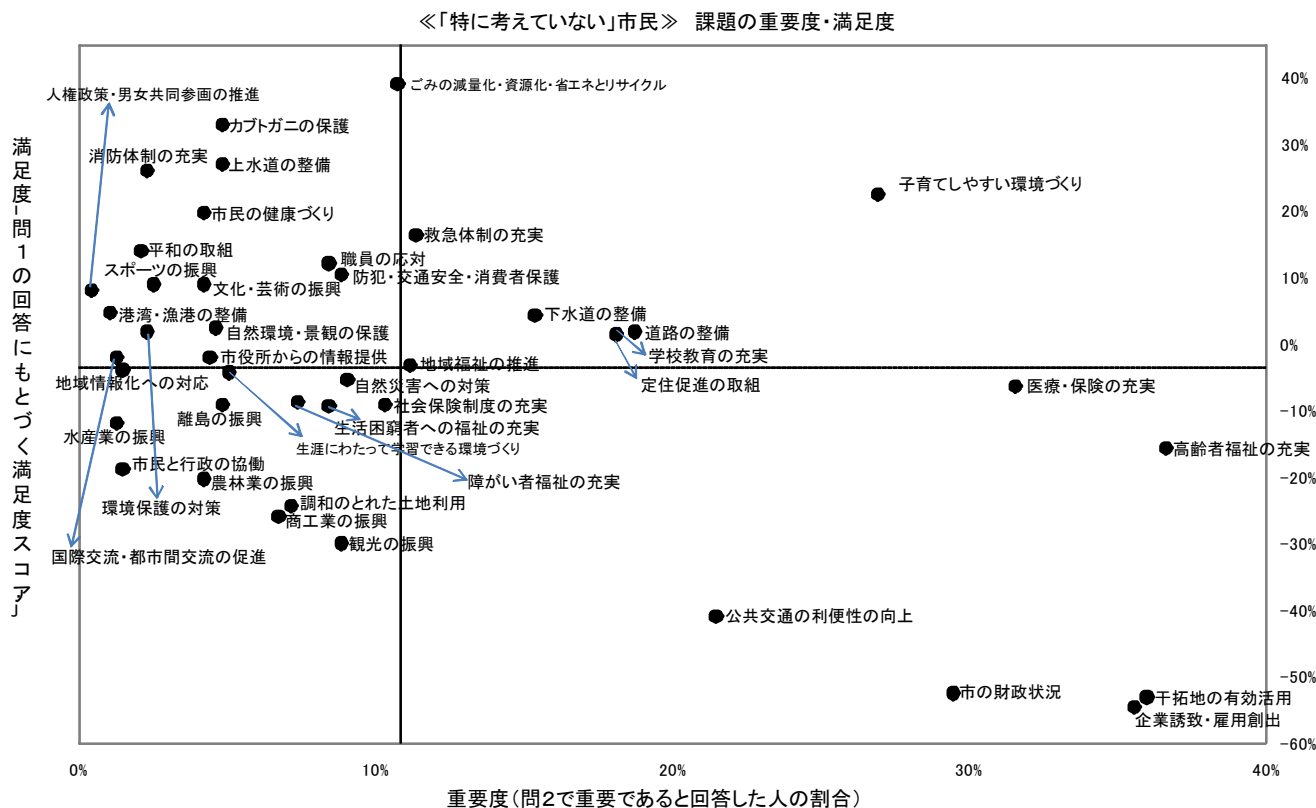
### (2) 「よいところがあれば移住したい」と考えている市民の重要度・満足度



(3) 「移住したい」と考えている市民の重要度・満足度



(4) 「特に考えていない」市民の重要度・満足度



### Ⅲ. 施策指標値調査結果

#### 1. 施策分野ごとの指標値

施策分野ごとに指標を設定し、指標値を計測しました。指標ごとの目指すべき方向性を矢印で示しています。

( ) は前回（平成 20 年度）調査結果の指標値です。

「結果」欄は、前回調査の指標値と比較した結果を矢印で示しています。

施策分野	問番号	指標名	指標値	方向性	結果
住環境	問3-1	「住環境」の整備状況（宅地の供給，街並みの整備等）に満足している市民の割合	25.3% ( - )	↗	-
公園・緑地	問3-2	「公園・緑地」の整備状況に満足している市民の割合	49.5% (46.9%)	↗	↗
公共交通	問3-3	「陸上交通機関」を利用している市民の割合	26.3% ( - )	↗	-
公共交通	問3-3②	「陸上交通機関」を利用している市民のうち，利用しやすいと感じている割合	40.1% ( - )	↗	-
公共交通	問3-4	「海上交通機関」を利用している市民の割合	11.5% ( - )	↗	-
公共交通	問3-4②	「海上交通機関」を利用している市民のうち，利用しやすいと感じている割合	46.1% ( - )	↗	-
公共交通	問3-5	「公共交通」を維持していくことが必要だと感じている市民の割合	85.9% ( - )	↗	-
公共交通	問3-5②	「公共交通」を維持していくことが必要だと感じている市民のうち，税の投入を妥当だと思っている割合	72.1% ( - )	↗	-
水道水	問3-6	「水道水」を安心して使用できると感じている市民の割合	60.1% (48.8%)	↗	↗
災害対策	問3-7	「非常時の持ち出し品」（食飲料）を準備している市民の割合	9.6% (8.6%)	↗	↗
ごみの減量化・資源化	問3-8	「ごみの減量化・資源化」に取り組んでいる市民の割合	88.7% (85.7%)	↗	↗
エコ	問3-9	「エコ」（節約・省エネルギー）を実践している市民の割合	81.8% (82.0%)	↗	↘

施策分野	問番号	指 標 名	指標値	方向性	結果
新 エ ネ ル ギ ー	問3-10	「新エネルギー」に関心がある市民の割合	83.3% ( - )	↗	-
太陽光発電	問3-11	「太陽光発電システム」を導入している、又は、導入予定がある市民の割合	7.1% ( - )	↗	-
公民館	問3-12	過去 1 年間に「公民館」を使用した市民の割合	37.1% (37.9%)	↗	↘
人権尊重	問3-13	「人権」を尊重しながら生活していると感じている市民の割合	72.4% (69.5%)	↗	↗
男女共同	問3-14	地域や職場で「男女が対等に活躍」できていると感じる市民の割合	41.4% (26.8%)	↗	↗
非核平和	問3-15	「非核平和都市宣言」をしていることを知っている市民の割合	66.6% (60.9%)	↗	↗
子育て	問3-16	安心して子どもを産み育てられると感じている市民の割合	39.5% (31.8%)	↗	↗
自治会・ 町内会活動	問3-17	過去 1 年間に「自治会・町内会活動」に参加した市民の割合	65.2% (66.4%)	↗	↘
島づくり	問3-18	「島おこし」事業に関わったことのある市民の割合	10.1% (8.5%)	↗	↗
市の窓口利用	問3-19	過去 1 年間に「市役所の窓口」を利用した市民の割合	77.0% (76.9%)	↗	↗
手続き	問3-19②	「窓口の手続き」が不便だと感じた市民の割合	20.4% (21.7%)	↘	↘
広報	問3-20	「広報かさおか」は役に立っていると感じている市民の割合	72.4% (69.8%)	↗	↗
広報	問3-21	「広報かさおか」が2色刷りになって読みやすくなったと感じている市民の割合	53.7% ( - )	↗	-
観光	問3-22	笠岡市は「観光客にとって魅力的」だと感じている市民の割合	11.4% (6.8%)	↗	↗
火災予防	問3-23	「住宅用火災警報器」の設置義務を知っている市民の割合	81.6% ( - )	↗	-
火災予防	問3-24	「住宅用火災警報器」を自宅に設置している市民の割合	54.7% ( - )	↗	-

施策分野	問番号	指 標 名	指標値	方向性	結果
市民意見の 市政反映	問3-25	「市民意見・提案」が市政に反映されていると感じている市民の割合	12.6% (13.4%)	↗	↘
道の駅	問3-26	「道の駅」や「直売所」を利用したことがある市民の割合	70.1% (-)	↗	-
道の駅	問3-27	「道の駅」や「直売所」が期待はずれだったことがある市民の割合	31.8% (-)	-	-
道の駅	問3-28	笠岡湾干拓地に「道の駅」が建設されることを知っている市民の割合	56.9% (-)	↗	-

## 2. 回答者の「居住の経緯」による分析

以下では、問3の回答と回答者の「居住の経緯」をもとに指標値を計測しました。

Uターン：笠岡市で住んだあと他の市町村に引越し、再び笠岡に戻ってきた市民

Iターン：他の市町村から笠岡市に引っ越してきた市民

「生まれてからずっと笠岡に住んでいる人」の指標値は、「住環境の整備状況」、「安心して子どもを産み育てることができると感じている」、「火災警報器を自宅に設置している」割合が、他と比較して高く、「陸上交通が利用しやすいと感じている」、「公共交通を維持していくことが必要だと感じている」、「ごみの減量化・資源化に取り組んでいる」、「市の窓口の手続きが不便だと感じている」、「道の駅や直売所を利用したことがある」、「道の駅や直売所が期待外れだったことがある」割合が、他と比較して低いという結果になりました。

「Uターン」の指標値は、「公園・緑地の整備状況に対する満足度」、「公共交通の維持のために公費投入が妥当と感じている」、「太陽光発電システムを導入、又は、導入する予定」、「過去1年間に市役所の窓口を利用した」割合が他と比較して高いという結果になりました。

「Iターン」の指標値は、「海上交通が利用しやすいと感じている」、「公共交通の維持のために公費投入が妥当と感じている」、「水道水を安心して使用できると感じている」、「地域や職場で男女が対等に活躍できていると感じている」、「笠岡湾干拓地に道の駅が建設されることを知っている」割合が他と比較して低いという結果になりました。

施策	指標名	全体	生まれてからずっと笠岡に住んでいる	Uターン	Iターン
住環境	「住環境」の整備状況（宅地の供給、街並みの整備等）に満足している市民の割合	25.3%	27.0%	23.6%	24.8%
公園・緑地	「公園・緑地」の整備状況に満足している市民の割合	49.5%	48.2%	56.2%	48.5%
公共交通	「陸上交通機関」を利用している市民の割合	26.3%	24.4%	28.3%	27.1%
公共交通	「陸上交通機関」を利用している市民のうち、利用しやすいと感じている割合	40.1%	37.5%	42.3%	42.6%
公共交通	「海上交通機関」を利用している市民の割合	11.5%	12.2%	14.5%	9.4%
公共交通	「海上交通機関」を利用している市民のうち、利用しやすいと感じている割合	46.1%	47.2%	47.5%	42.9%

施策	指標名	全体	生まれてからずっと笠岡に住んでいる	Uターン	Iターン
公共交通	「公共交通」を維持していくことが必要だと感じている市民の割合	85.9%	83.0%	89.1%	88.7%
公共交通	「公共交通」を維持していくことが必要だと感じている市民のうち、税の投入を妥当だと思っている割合	72.1%	73.0%	78.0%	67.2%
水道水	「水道水」を安心して使用できていると感じている市民の割合	60.1%	63.3%	65.6%	53.5%
災害対策	「非常時の持ち出し品」（食飲料）を準備している市民の割合	9.6%	7.6%	10.1%	10.8%
ごみの減量化・資源化	「ごみの減量化・資源化」に取り組んでいる市民の割合	88.7%	86.8%	90.2%	90.0%
エコ	「エコ」（節約・省エネルギー）を実践している市民の割合	81.8%	80.1%	81.9%	84.2%
新エネルギー	「新エネルギー」に関心がある市民の割合	83.3%	81.7%	83.7%	84.4%
太陽光発電	「太陽光発電システム」を導入している、又は、導入予定がある市民の割合	7.1%	6.6%	11.2%	5.6%
公民館	過去1年間に「公民館」を使用した市民の割合	37.1%	39.7%	36.6%	34.0%
人権尊重	「人権」を尊重しながら生活していると感じている市民の割合	72.4%	70.6%	73.6%	74.2%
男女共同	地域や職場で「男女が対等に活躍」できていると感じる市民の割合	41.4%	43.1%	45.3%	37.1%
非核平和	「非核平和都市宣言」をしていることを知っている市民の割合	66.6%	69.1%	67.0%	65.0%
子育て	安心して子どもを産み育てられると感じている市民の割合	39.5%	42.1%	37.0%	38.5%
自治会・町内会活動	過去1年間に「自治会・町内会活動」に参加した市民の割合	65.2%	62.8%	67.0%	66.7%
島づくり	「島おこし」事業に関わったことのある市民の割合	10.1%	10.2%	11.6%	9.6%



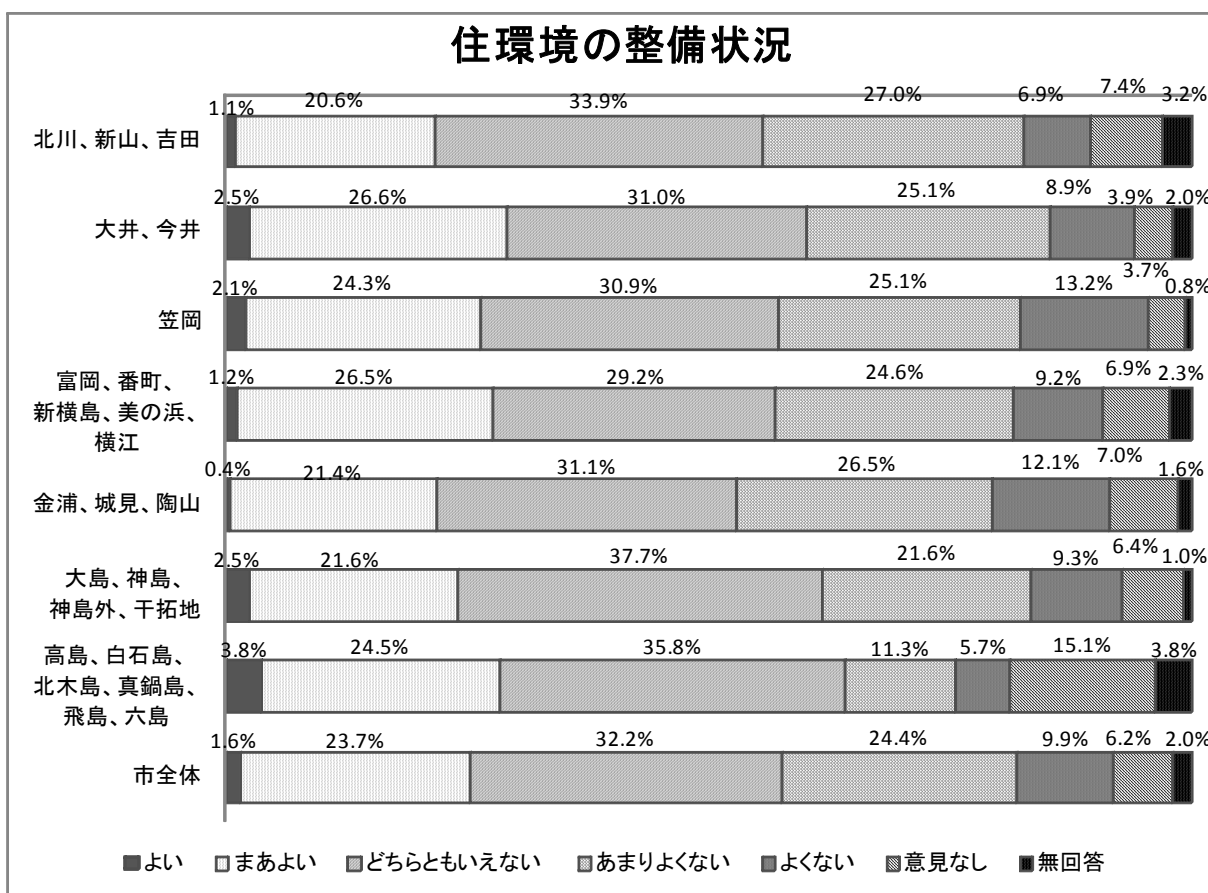
施策	指標名	全体	生まれてからずっと笠岡に住んでいる	Uターン	Iターン
市の窓口利用	過去1年間に「市役所の窓口」を利用した市民の割合	77.0%	76.2%	80.8%	76.9%
手続き	「窓口の手続き」が不便だと感じた市民の割合	20.4%	18.0%	22.5%	22.5%
広報かさおか	「広報かさおか」は役に立っていると感じている市民の割合	72.4%	72.8%	72.8%	71.5%
広報かさおか	「広報かさおか」が2色刷りになって読みやすくなったと感じている市民の割合	53.7%	53.7%	53.3%	54.2%
観光	笠岡市は「観光客にとって魅力的」だと感じている市民の割合	11.4%	13.1%	11.6%	10.0%
火災予防	「住宅用火災警報器」の設置義務を知っている市民の割合	81.6%	82.2%	81.5%	80.8%
火災予防	「住宅用火災警報器」を自宅に設置している市民の割合	54.7%	58.1%	55.4%	48.8%
市民意見の市政反映	「市民意見・提案」が市政に反映されていると感じている市民の割合	12.6%	13.6%	12.0%	10.6%
道の駅	「道の駅」や「直売所」を利用したことがある市民の割合	70.1%	66.2%	75.7%	72.3%
道の駅	「道の駅」や「直売所」が期待はずれだったことがある市民の割合	31.8%	29.4%	35.5%	33.7%
道の駅	笠岡湾干拓地に「道の駅」が建設されることを知っている市民の割合	56.9%	62.5%	62.0%	48.8%

### 3. 個別分析及び回答者の属性による分析

#### (1) 笠岡市内の住環境の整備状況（宅地の供給，街並みの整備等）について

笠岡市内の住環境の整備状況については、いずれの地域においても「どちらともいえない」の回答割合が高くなりました。

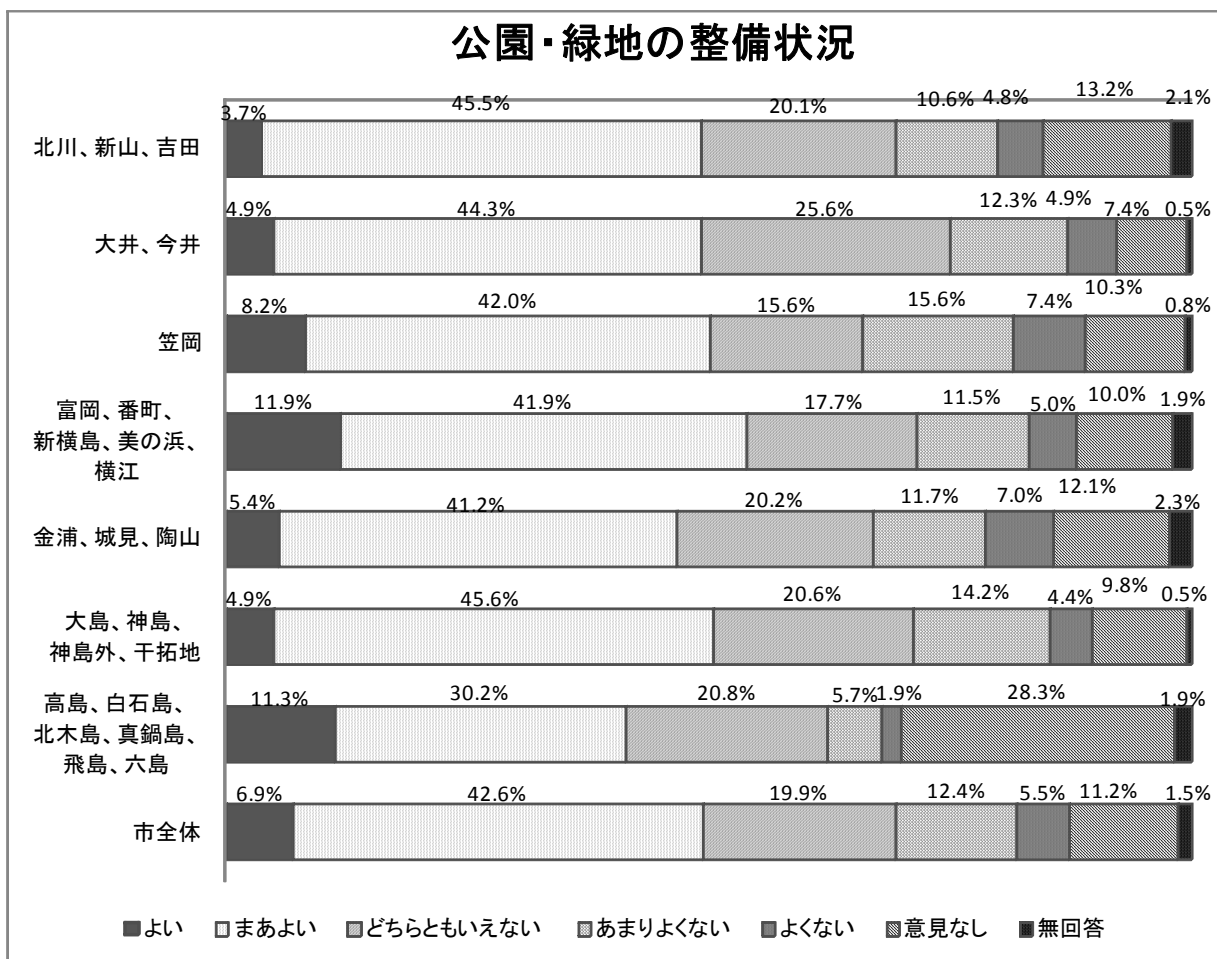
「よい」「まあよい」の合計は「大井，今井」29.1%、「高島，白石島，北木島，真鍋島，飛島，六島」28.3%、「富岡，番町，新横島，美の浜，横江」27.7%の順に多く、逆に「あまりよくない」「よくない」の合計は「金浦，城見，陶山」38.5%、「笠岡」38.3%、大井，今井」34.0%の順に多いという結果になりました。



(2) 笠岡市内の公園・緑地の整備状況について

笠岡市内の公園・緑地の整備状況については、いずれの地域においても「まあよい」の回答割合が高くなりました。

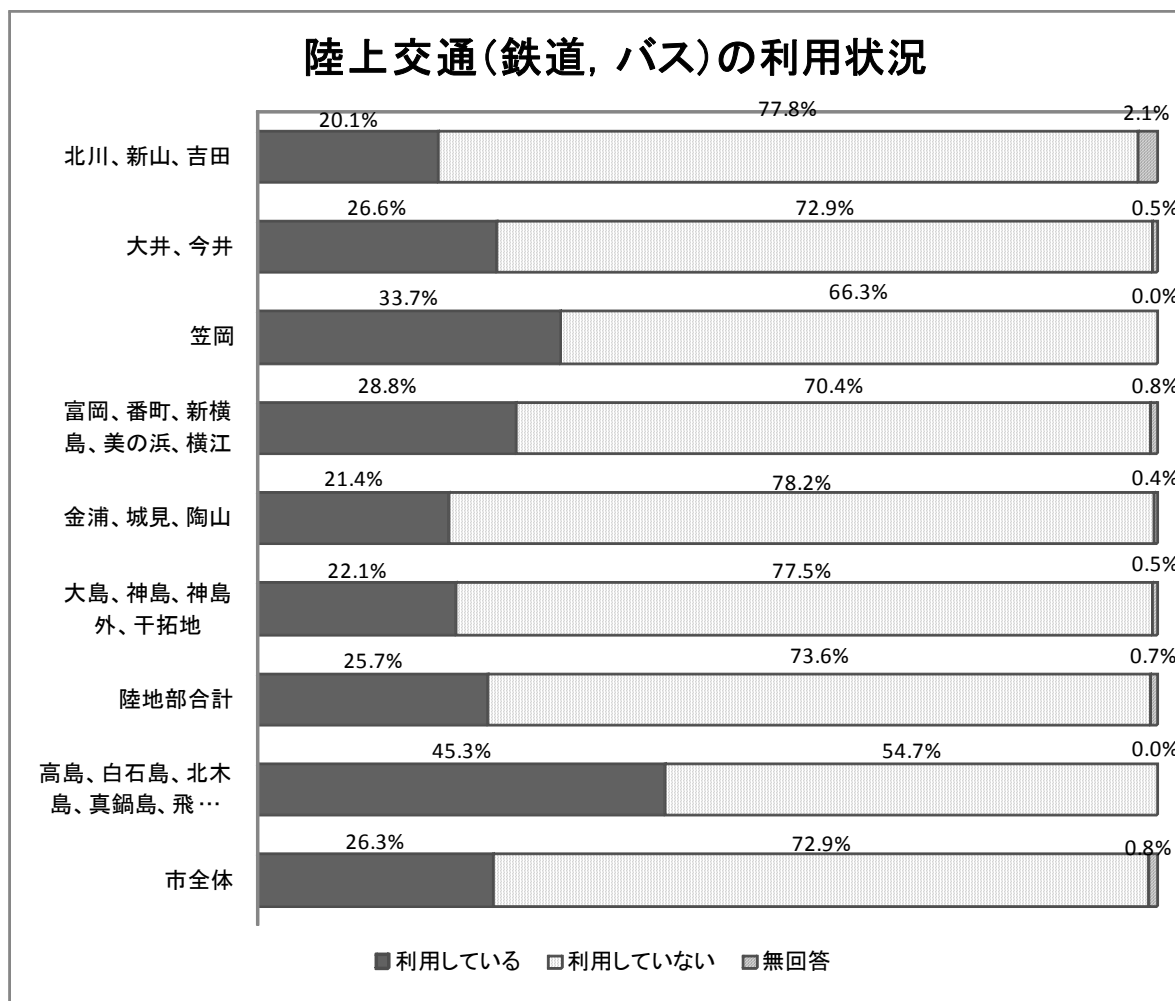
「よい」「まあよい」の合計は「富岡，番町，新横島，美の浜，横江」53.8%，「大島，神島，神島外，干拓地」50.5%，「笠岡」50.2%の順に多く、半数を超えています。一方、「あまりよくない」「よくない」の合計は「笠岡」23.0%，「金浦，城見，陶山」18.7%，「大島，神島，神島外，干拓地」18.6%順に多いという結果になりました。



### (3) 笠岡市内の陸上交通（鉄道，バス）の利用状況

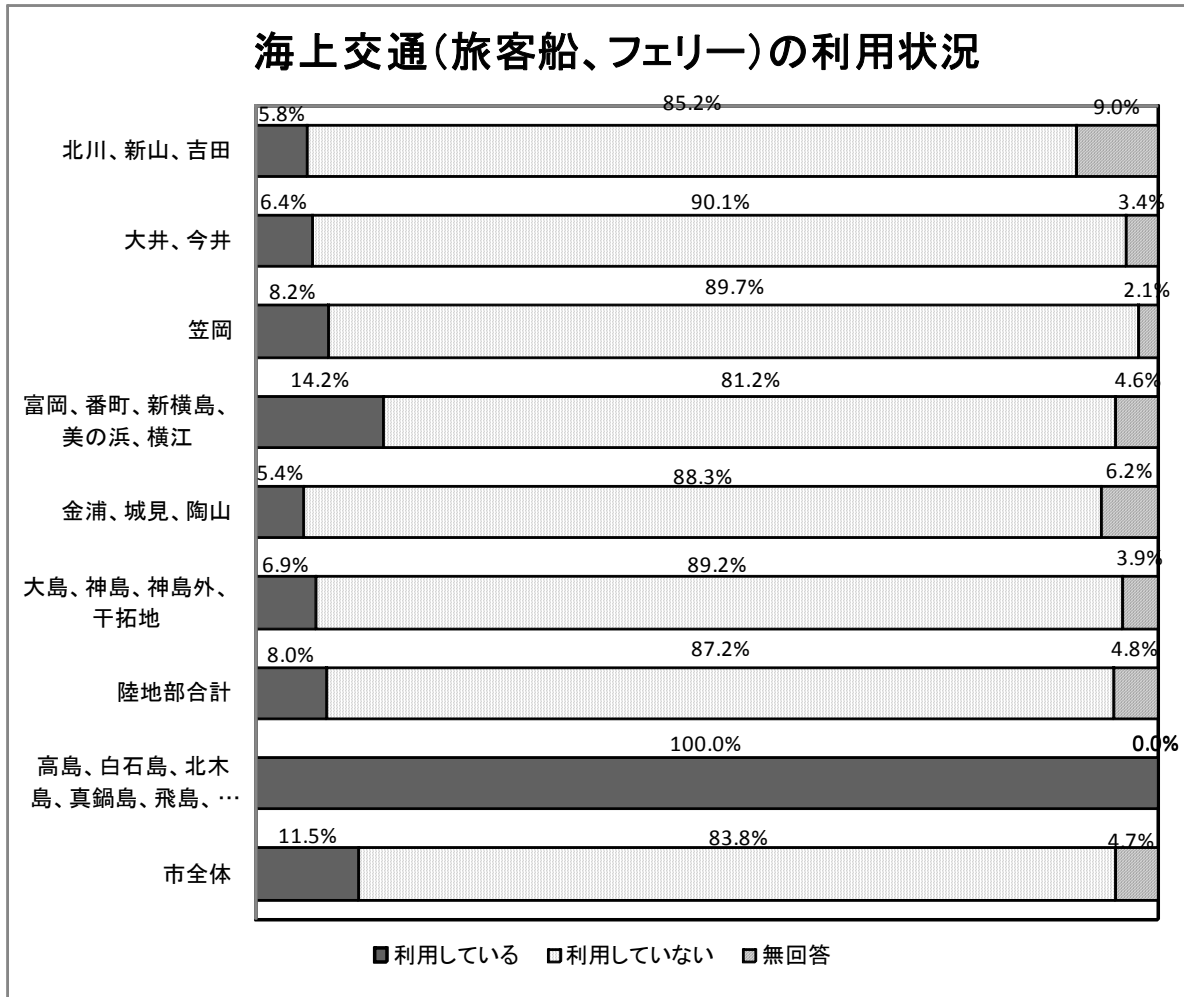
笠岡市内の陸上交通の利用状況については，市内全体では 26.3%と 3 人に 1 人以下の利用となりました。

利用割合が高いのは，「高島，白石島，北木島，真鍋島，飛島，六島」45.3%，次いで「笠岡」の 33.7%で，利用割合が低いのは，「北川，新山，吉田」20.1%，「金浦，城見，陶山」21.4%，「大島，神島，神島外，干拓地」22.1%の順となりました。



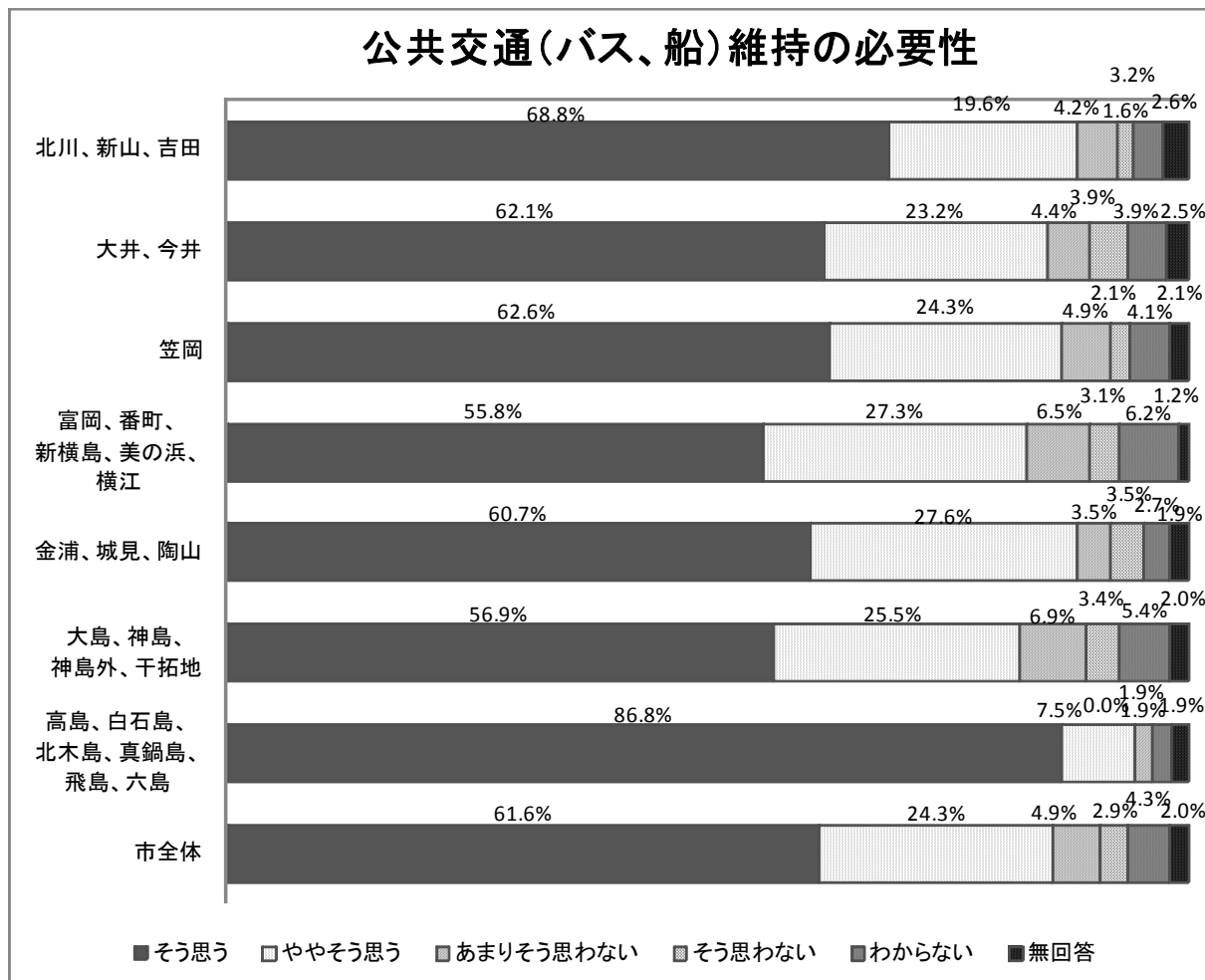
(4) 海上交通の利用状況

笠岡市内の海上交通の利用については、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」の島嶼部が100%利用しているのに対して、陸地部では平均8.0%の利用しかないという結果になりました。陸地部の中では、「富岡、番町、新横島、美の浜、横江」の14.2%が最も高くなっています。



(5) 公共交通（バス、船）の維持の必要性

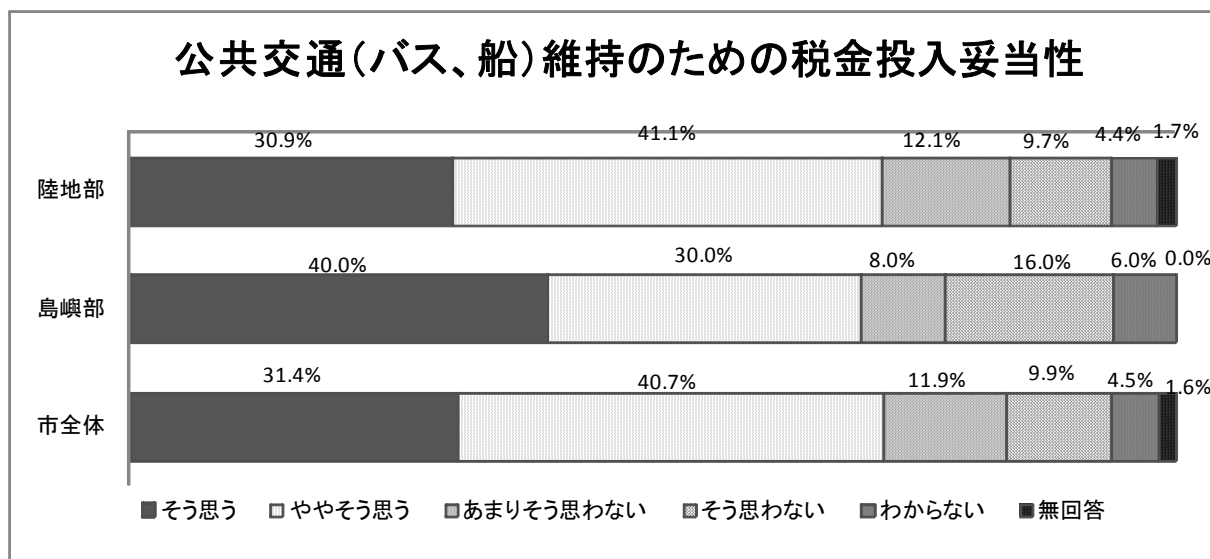
公共交通を維持していくことを必要と思うかどうかを尋ねたところ、市全体では85.9%、島嶼部においては94.3%の人が「そう思う」「ややそう思う」と回答しています。



(5) - 2 公共交通維持のための税金投入妥当性

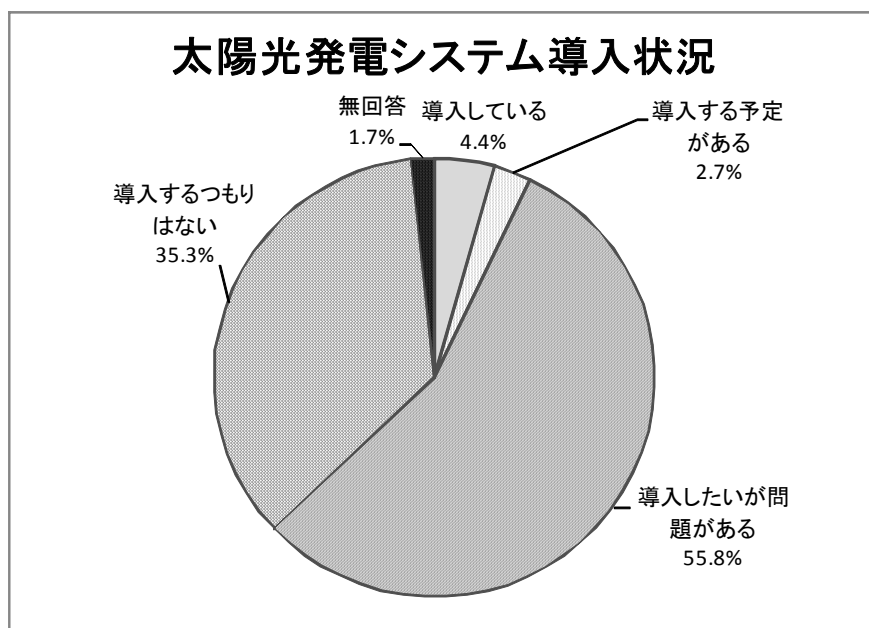
(5)の「公共交通(バス、船)を維持していくことが必要だと思うか」という設問に「そう思う」、「ややそう思う」と回答した人に対して、公共交通を維持していくために税金を投入することが妥当だと思うかどうかを尋ねました。

「そう思う」「ややそう思う」と回答した割合は、市全体72.1%、陸地部72.0%、島嶼部70.0%と、いずれも約70%となりました。一方、「あまりそう思わない」「そう思わない」は、島嶼部は24.0%、陸地部は21.9%、となりました。



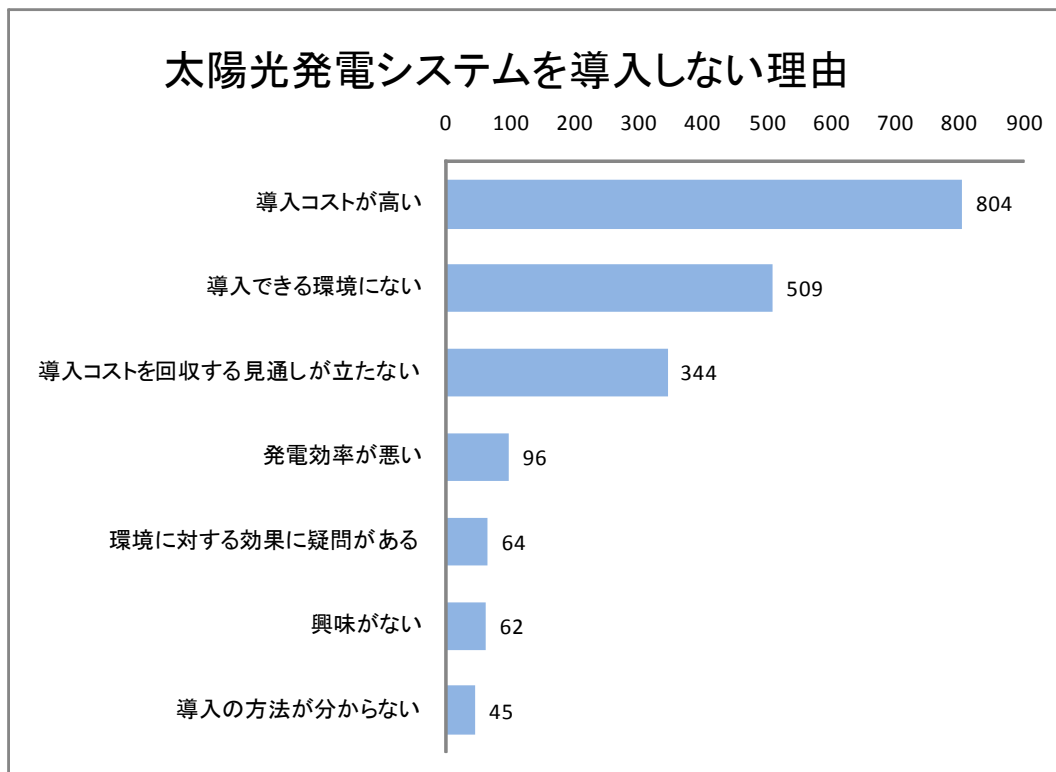
(11) 太陽光発電システムの導入状況

太陽光発電システムの導入状況を尋ねたところ、「導入済」は4.4%、「導入予定がある」は2.7%と、合計しても10%に満たない結果となりました。一方、「導入したいが問題がある」55.8%、「導入するつもりはない」35.3%を合わせると90%を超える結果となりました。



(11) - 2 太陽光発電システムを導入しない理由

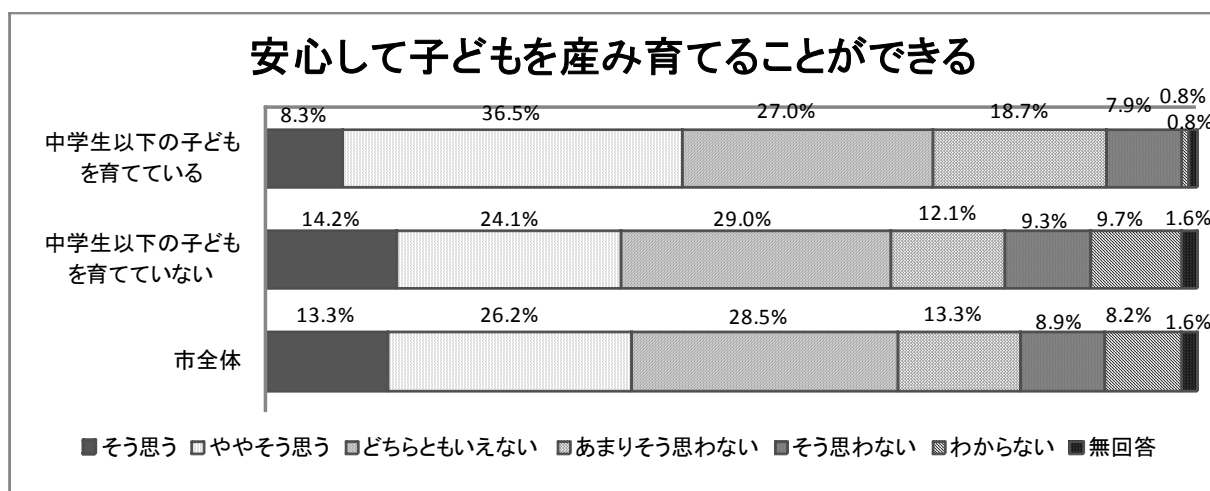
問い(11)で「導入したいが問題がある」「導入するつもりはない」と回答した人に、導入しない理由を尋ねたところ、次のような結果になりました。導入コストが、最も大きな課題となっています。



(16) 笠岡市内で安心して子どもを産み育てることができる

中学生以下の子どもを育てているか否かにかかわらず、「そう思う」「ややそう思う」の合計の方が、「あまりそう思わない」「そう思わない」の合計よりも多くなりました。

中学生以下の子どもを育てている人の方が、育てていない人よりも、「そう思う」「ややそう思う」と答えた割合が高いという結果になりました。



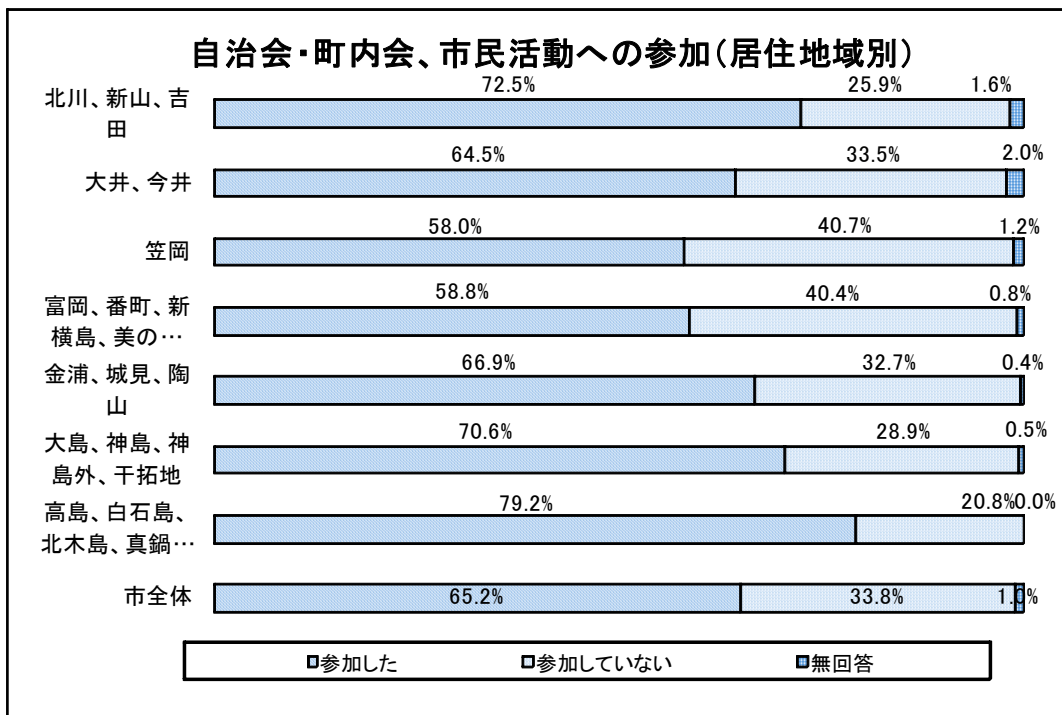
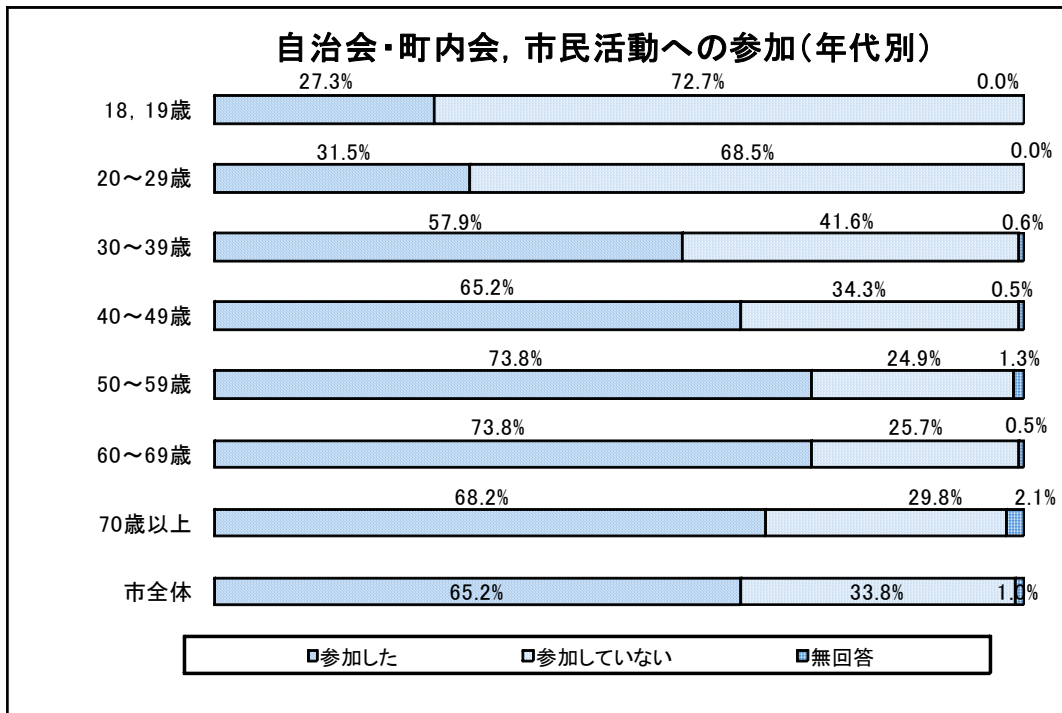


(17) 自治会・町内会活動，市民活動への参加

この1年間に，自治会・町内会の活動や市民活動に参加したかどうかを尋ねました。

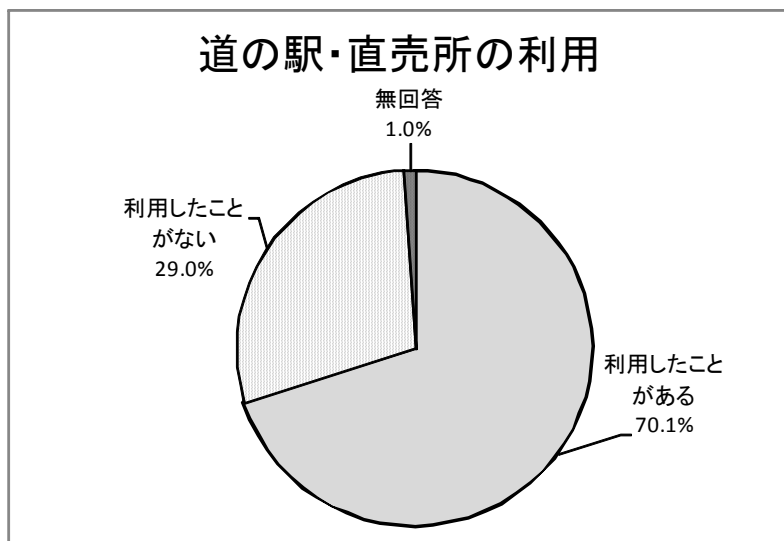
年代別にみると，50歳代と60歳代がともに73.8%と高く，次いで70歳以上68.2%，40歳代65.2%となり，20代以下が低い結果になりました。

地域別にみると，島嶼部の79.2%が最も高く，「北川，新山，吉田」72.5%，「大島，神島，神島外，干拓地」70.6%になりました。



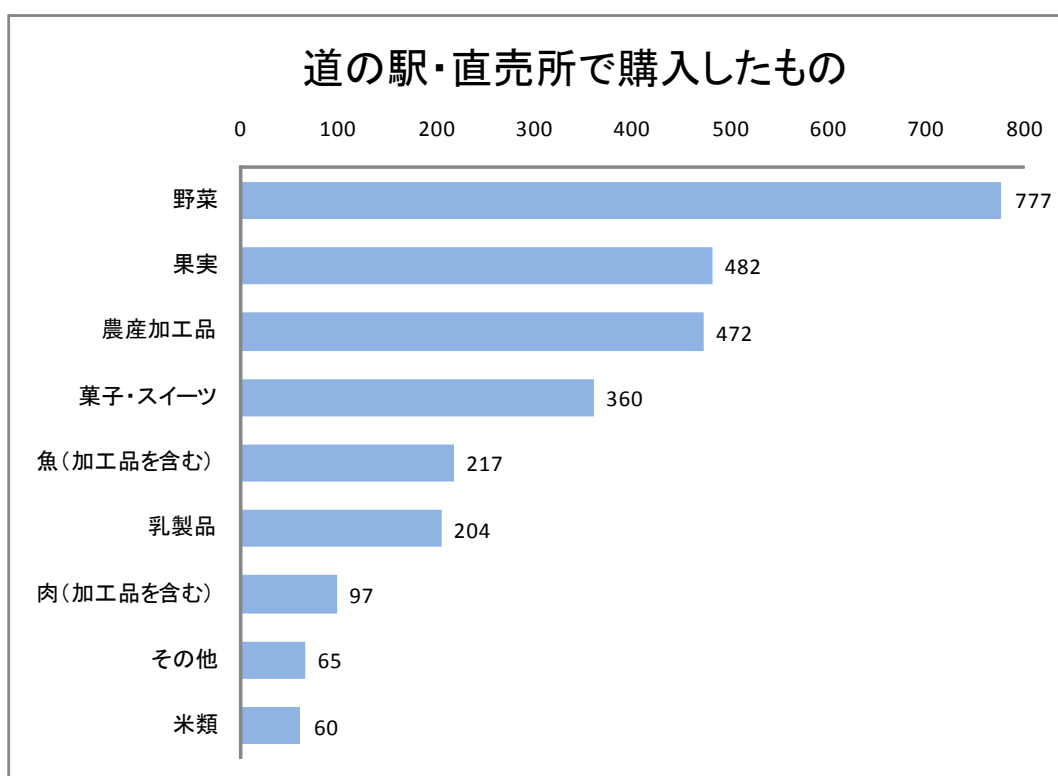
## (26) 道の駅や直売所の利用

道の駅や直売所を利用したことがあるかどうかを尋ねたところ、1,004 人（70.1%）が「利用したことがある」と回答しました。



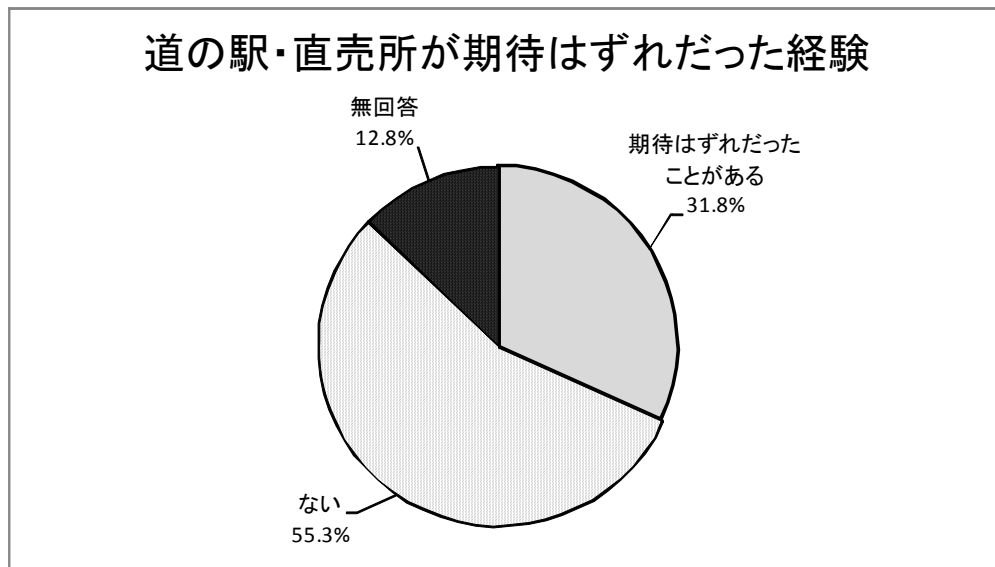
### (26)-1 道の駅や直売所で購入したもの

問(26)で、道の駅や直売所を「利用したことがある」と回答した人に、購入したものを尋ねました。「野菜」(777 件, 77.4%) が最も多く、次いで「果実」、「農産加工品」、「菓子・スイーツ」の順になりました。「その他」の回答で多かったものは、「花, 苗, 植木等」が 33 件, 「手芸品・工芸品」が 7 件でした。



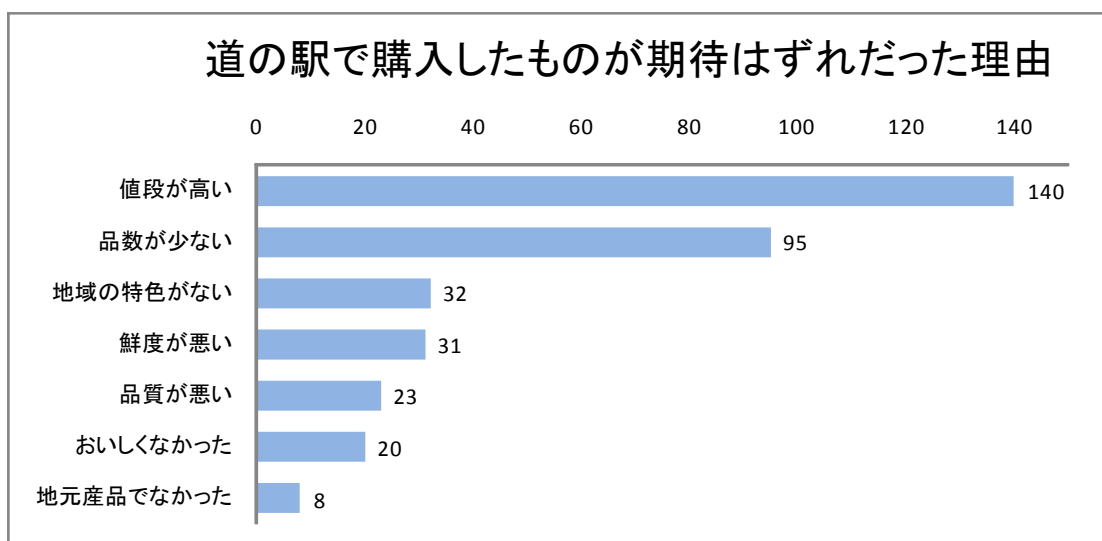
## (27)道の駅や直売所が期待はずれだった経験

道の駅や直売所を利用し、期待はずれだったことがあるかどうかを尋ねたところ、「ない」が793件（55.3%）、「期待はずれだったことがある」456人（31.8%）という結果になりました。



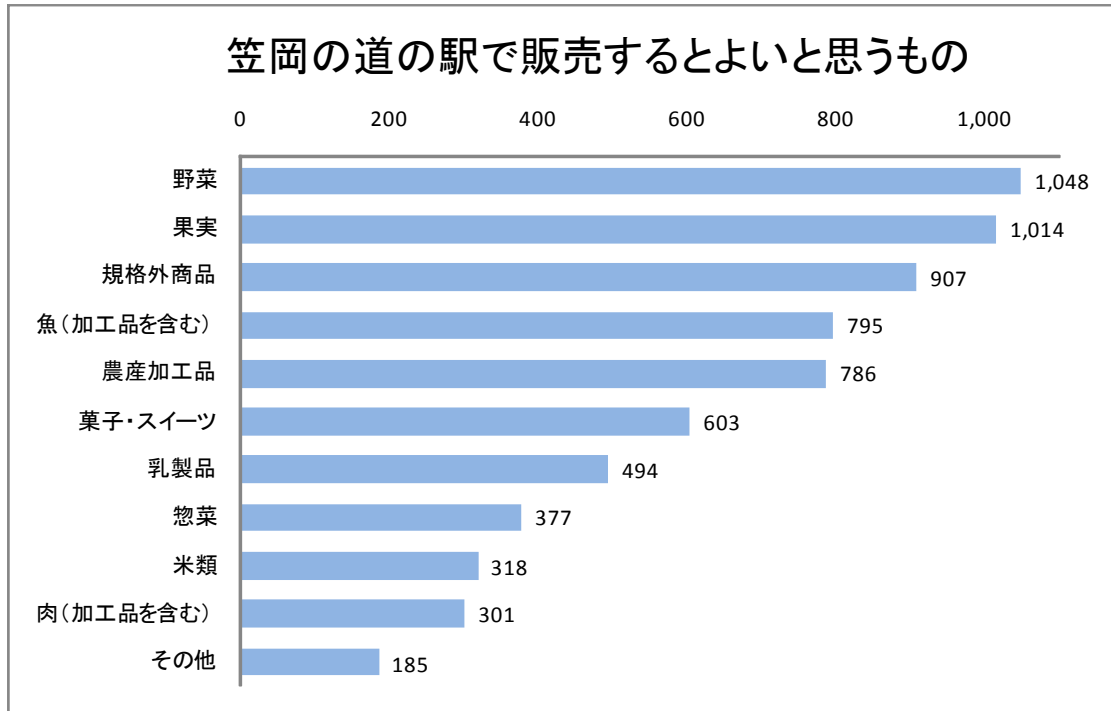
### (27)-1 期待はずれだったこと

問(27)で「期待はずれだったことがある」と回答した人に、その理由を尋ねました。「値段が高い」（140件、30.7%）と「品数が少ない」（95件、20.8%）という理由が多く、次いで「地域の特色がない」「鮮度が悪い」「品質が悪い」「おいしくなかった」が並び結果になりました。



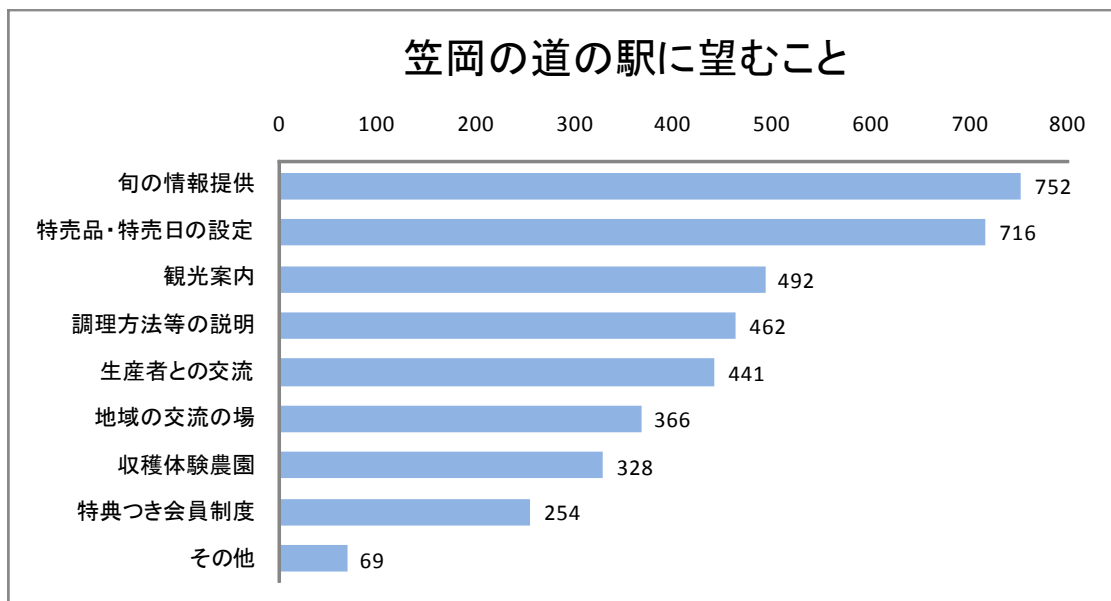
(29) 笠岡の道の駅で販売されているとよいもの

笠岡の道の駅で販売されているとよいと思うものを尋ねたところ、「野菜」(1,048件)、「果実」(1,014件)、「規格外商品」(907件)の順に多い結果になりました。これに、魚(加工品を含む)、農産加工品が続いています。



(30) 笠岡の道の駅に望むこと

笠岡の道の駅にどのようなことを望むか尋ねたところ、「旬の情報提供」(752件)、「特売品・特売日の設定」(716件)が並びました。次いで、「観光案内」、「調理方法等の説明」、「生産者との交流」という結果になりました。

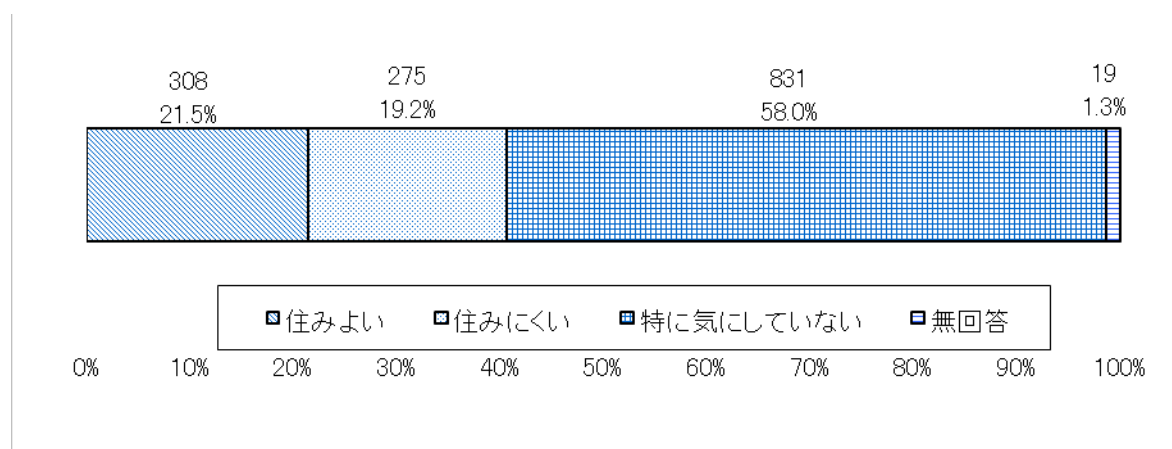


#### IV. 住みやすさ意識調査結果

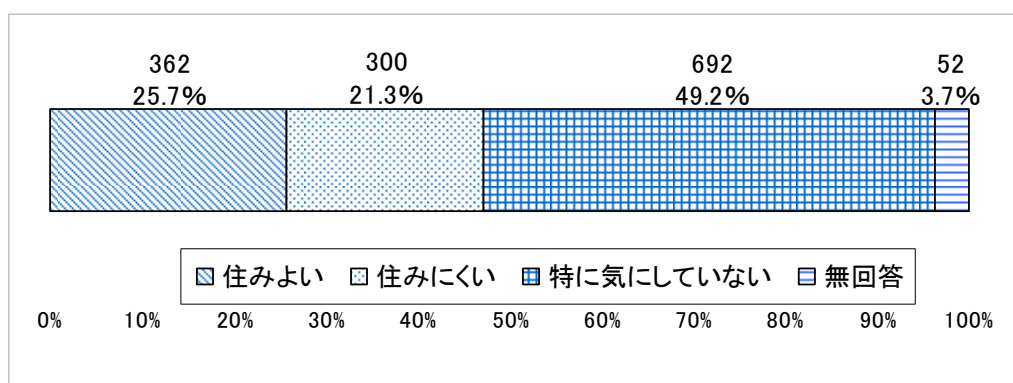
笠岡市の住みやすさについての調査（問 4-14、15）の結果は以下のとおりとなりました。

##### 1. 笠岡市の今の住み心地について

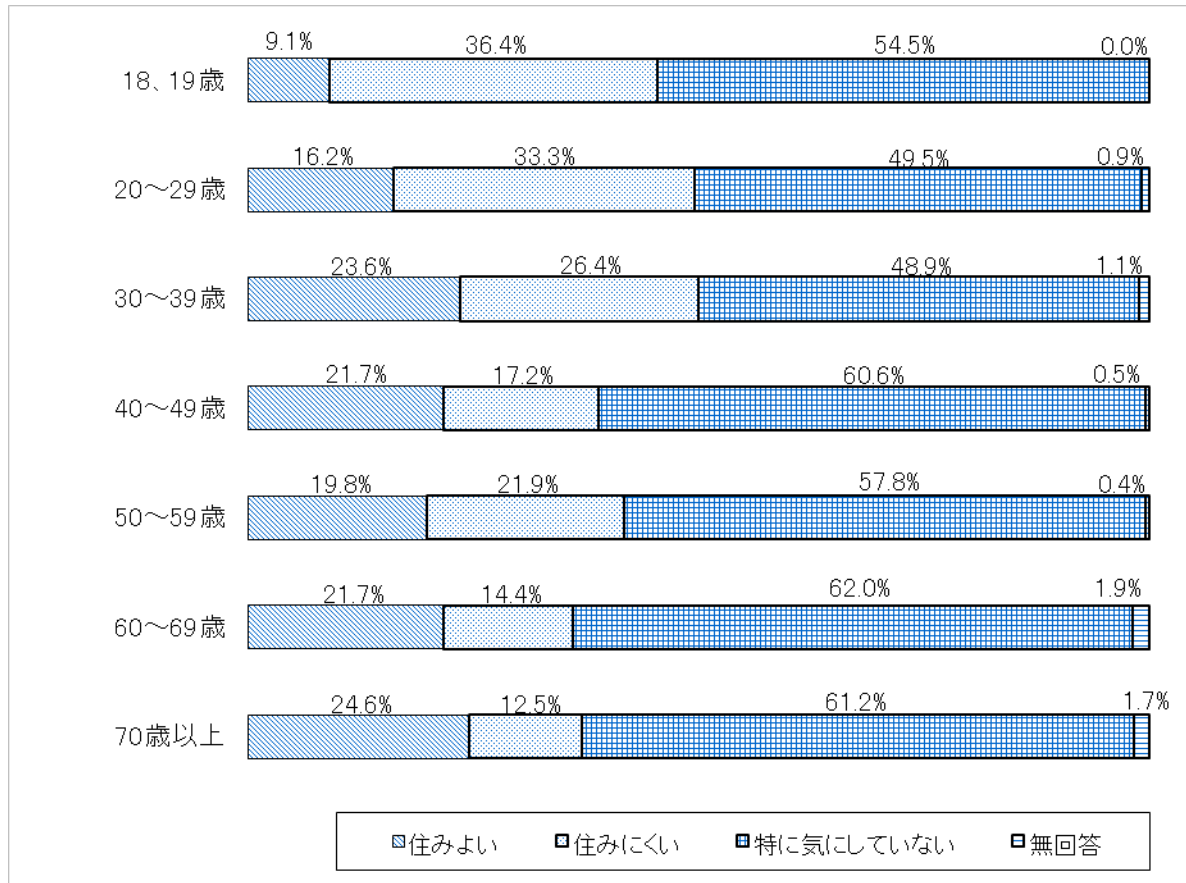
「あなたは、今の笠岡市の住み心地についてどう思いますか？」という質問（問4-14）については、「住みよい」という回答が308件(21.5%)、「住みにくい」が275件(19.2%)で、「特に気にしていない」が831件(58.0%)となりました。前回と比較すると、「住みよい」と「住みにくい」がいずれも減り、「特に気にしていない」が増えています。



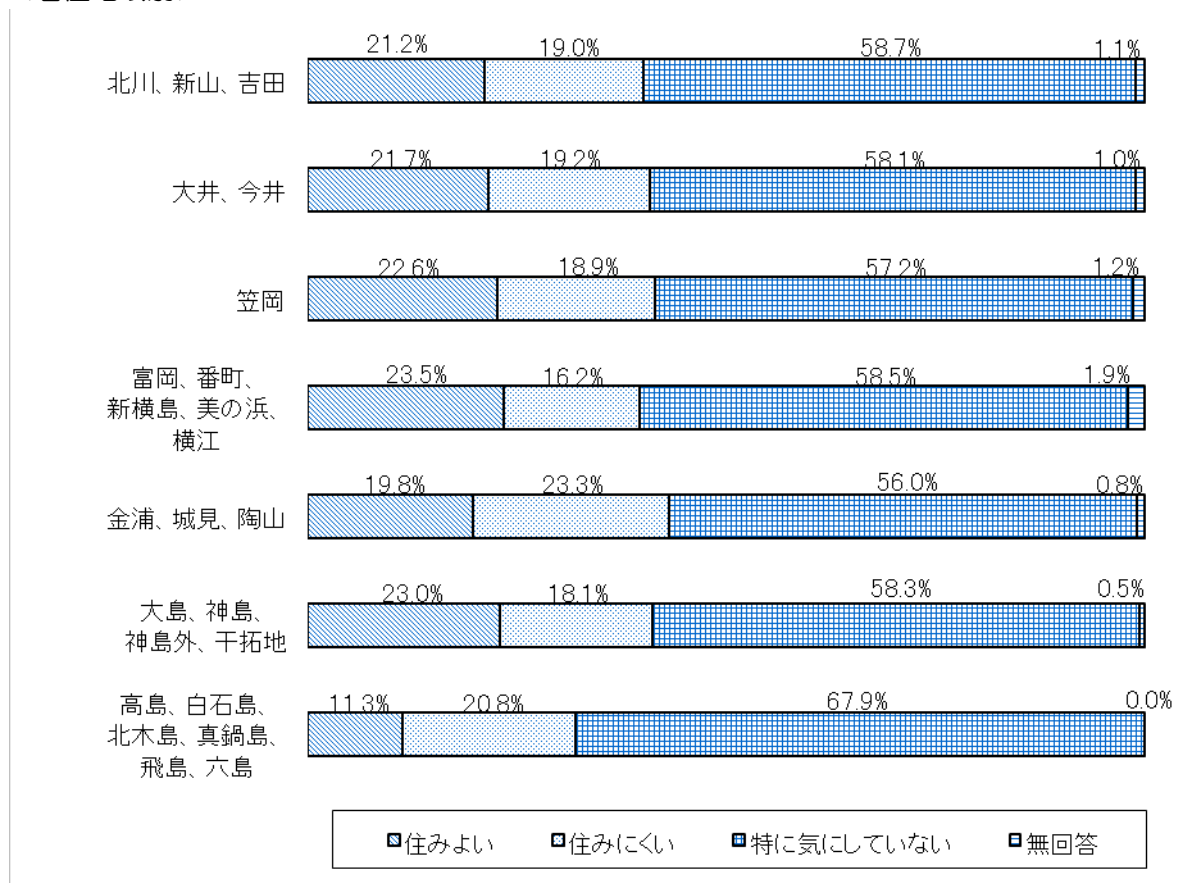
##### 前回（平成20年調査結果）



<年代別>



<居住地域別>

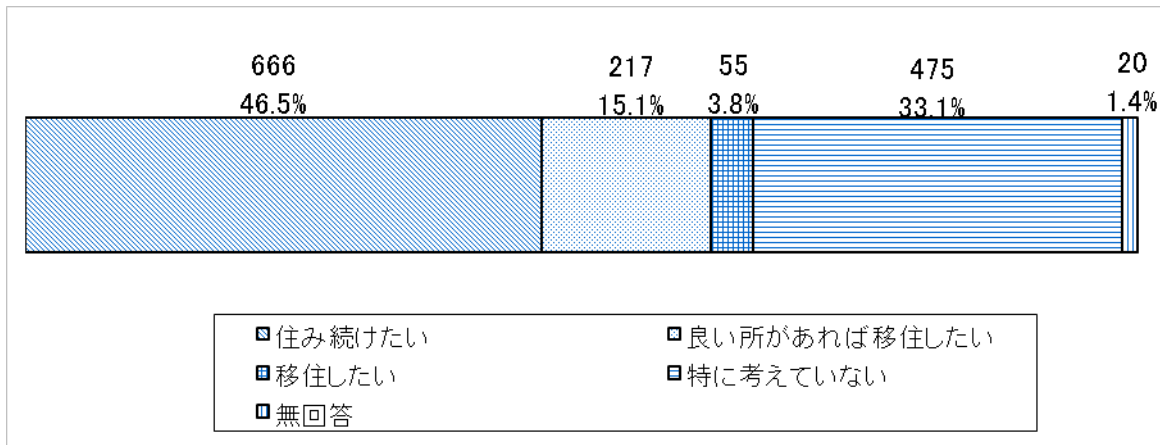


## 2. 定住意向について

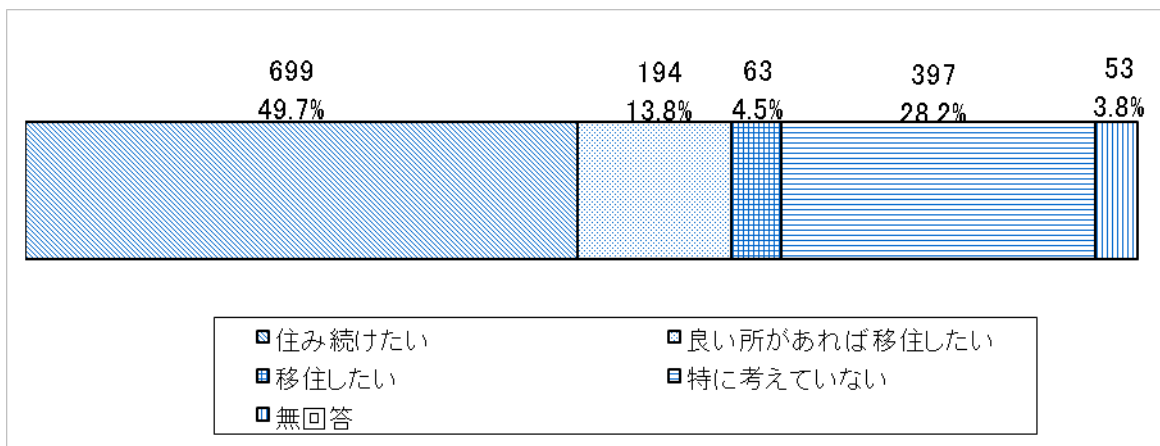
「あなたは、これからも笠岡市に住み続けたいですか？」という質問（問4-15）については、「住み続けたい」という回答が666件(46.5%)となりました。その一方で、「良い所があれば移住したい」が217件(15.1%)で、「移住したい」の55件(3.8%)を合わせると272件(18.8%)となっています。

前回と比較すると、「住み続けたい」と「良い所があれば移住したい」が減り、「移住したい」と「特に気にしていない」が増えています。

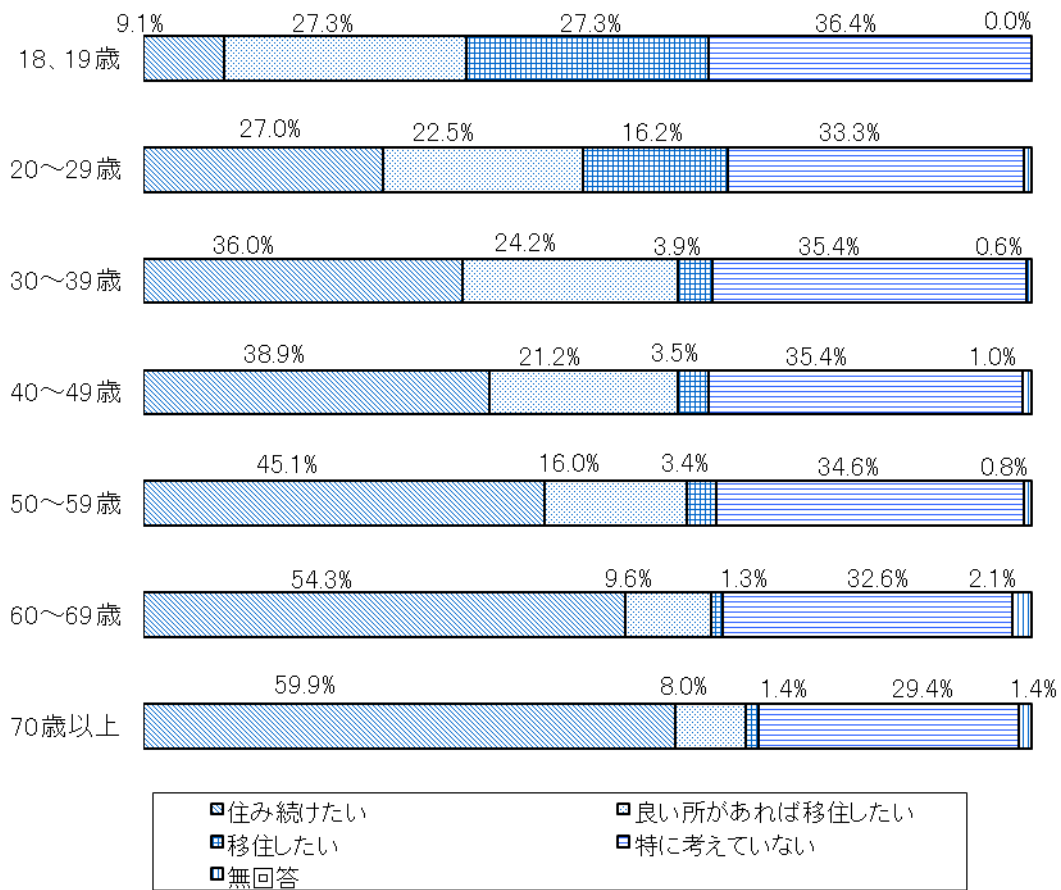
年齢別に見ると、20歳代以降は、年齢が高くなるにつれて「住み続けたい」の回答割合が高くなるという結果になりました。また、居住地域別にみると、「良い所があれば移住したい」「移住したい」を合計した回答割合は、「大井、今井」地区で24.6%と、他の居住地域よりも高くなっています。



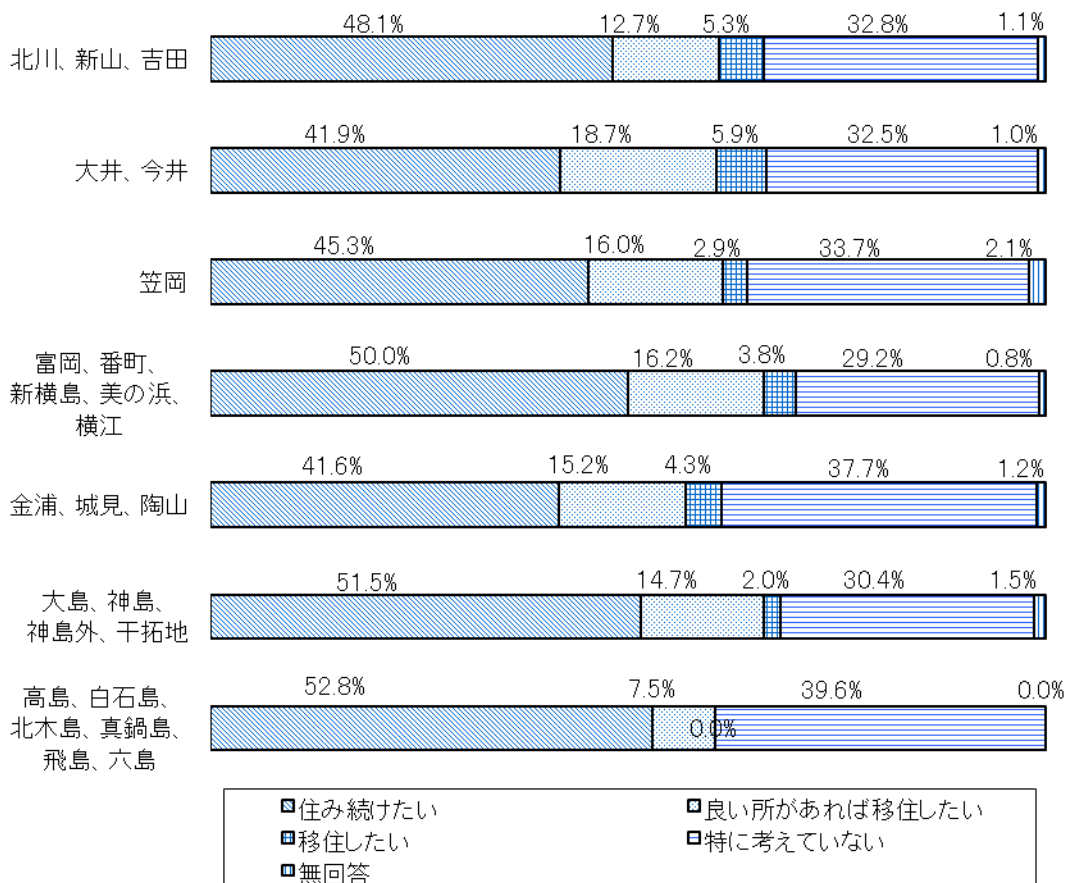
### 前回（平成20年調査結果）



<年代別>



<居住地域別>



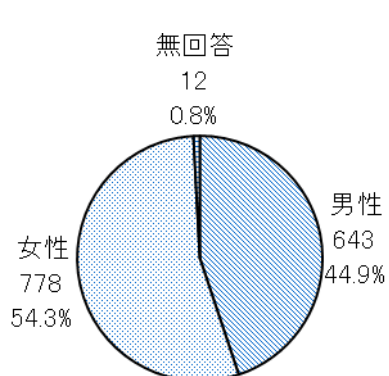


## V. 回答者の属性

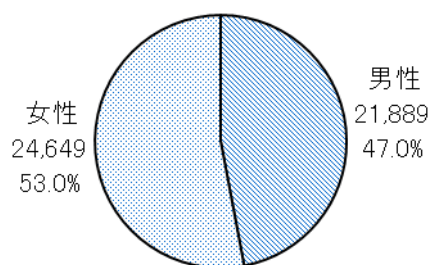
### 1. 性別

回答者のうち「男性」が44.9%、「女性」が54.3%となりました。

平成22年7月1日現在の住民基本台帳人口（本調査の対象が満18歳以上の市民のため、18歳未満の人口は除いています）と比較すると、男性の回答割合が若干低いという結果となりました。



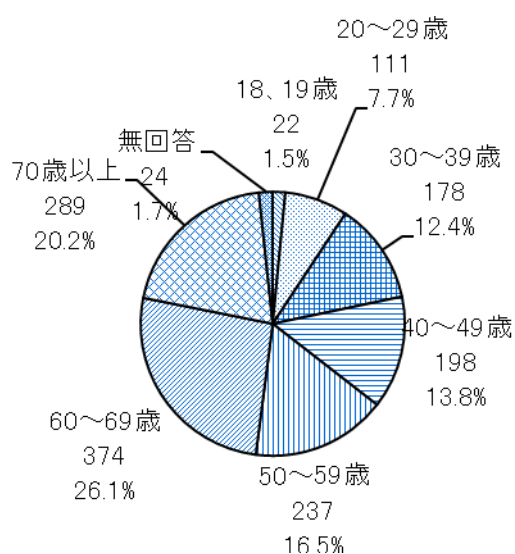
(参考) 平成22年7月1日現在の  
住民基本台帳人口(18歳以上)



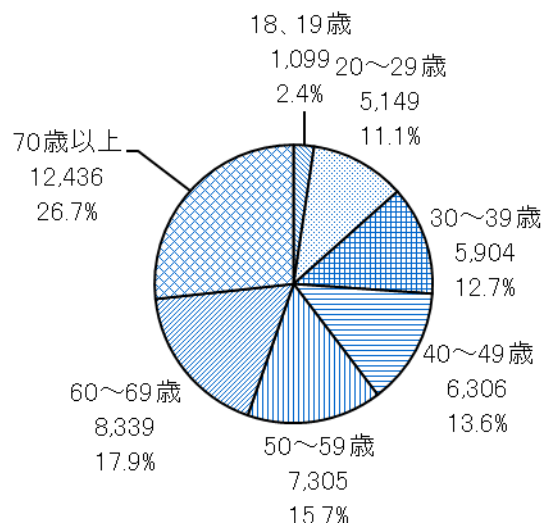
### 2. 年齢

世代別の回答者は下図のとおりとなりました。

平成22年7月1日現在の住民基本台帳人口と比較すると、「18、19歳」「20～29歳」「70歳以上」の回答割合が低く、「50～59歳」「60～69歳」の回答率が高いという結果となりました。



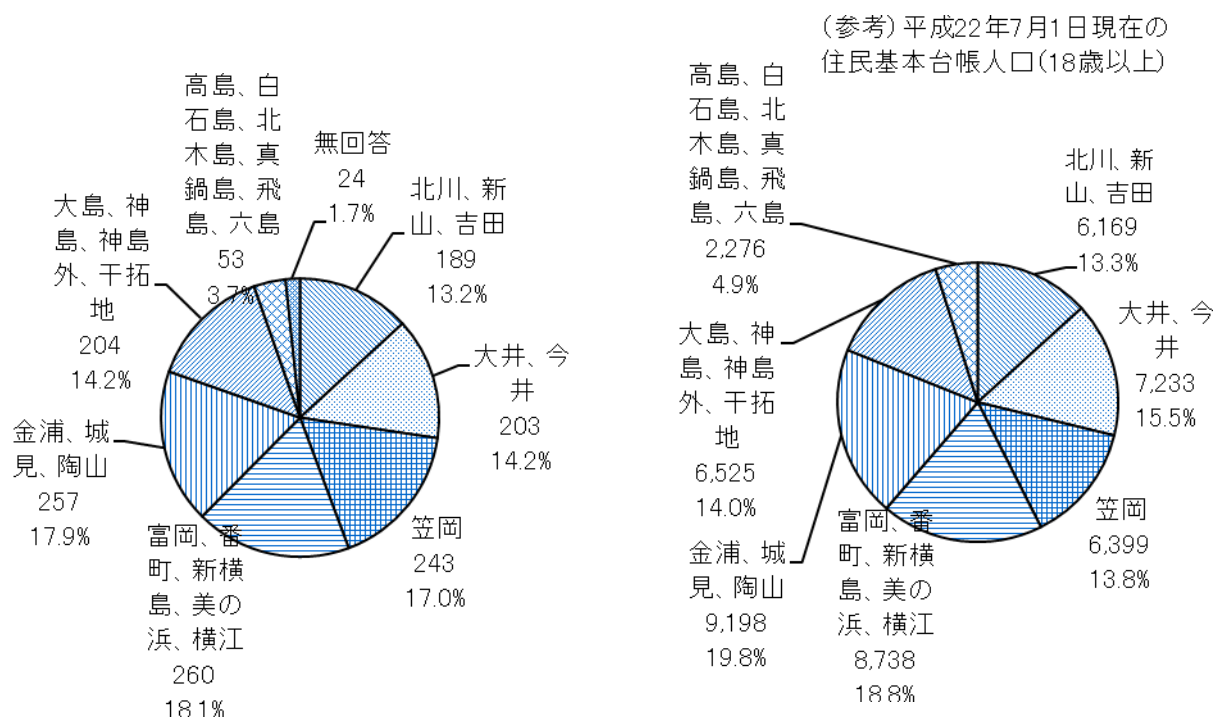
(参考) 平成22年7月1日現在の  
住民基本台帳人口(18歳以上)



### 3. 居住地域

居住地域別回答者は以下のとおりとなりました。

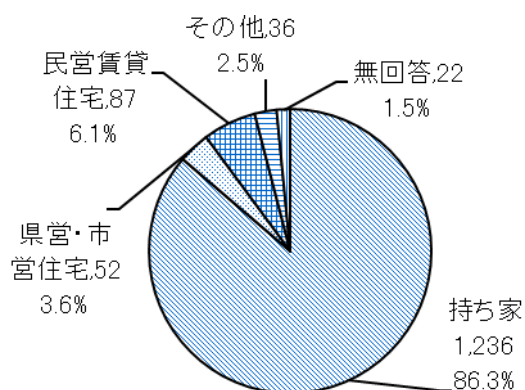
平成 22 年 7 月 1 日現在の住民基本台帳人口と比較すると、「笠岡」「金浦、城見、陶山」の回答割合がやや高く、「大井、今井」「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」がやや低いという結果になりました。



### 4. 現在お住まいの住居

「持ち家」が 1,236 件(86.3%)と、最も多く、公営・民営を合計した賃貸住宅は、139 件(9.6%)と 1 割に満たない結果になりました。

その他の中には、「家族所有の持ち家」や「施設」「グループホーム」等の回答がありました。

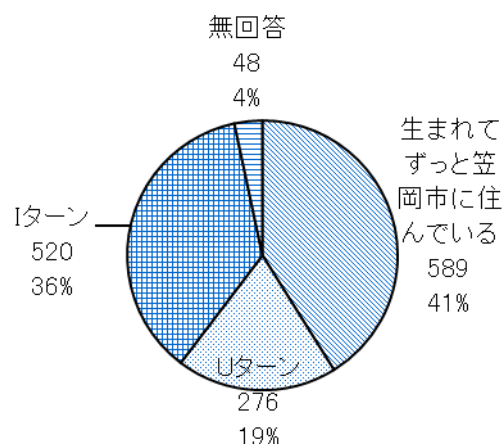


## 5. 笠岡市にお住まいの経緯

「生まれてずっと笠岡市に住んでいる」という回答者が 589 件（41.1%）と最も多く、次いで「Iターン」が 520 件（36.3%）となりました。

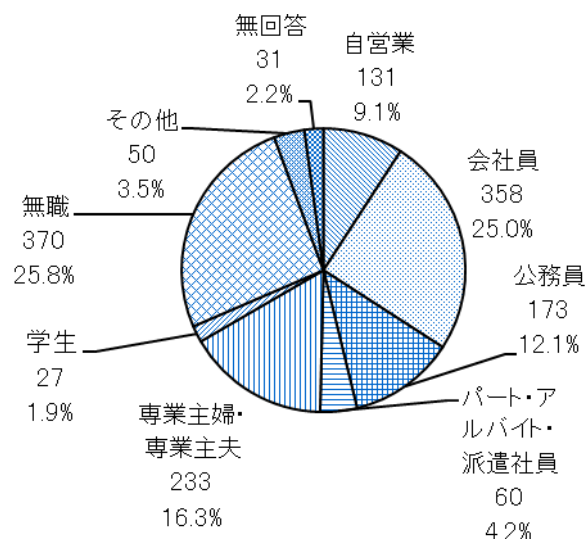
Uターン：笠岡市で住んだあと他の市町村に引越し、再び笠岡に戻ってきた市民

Iターン：他の市町村から笠岡市に引っ越してきた市民



## 6. 職業

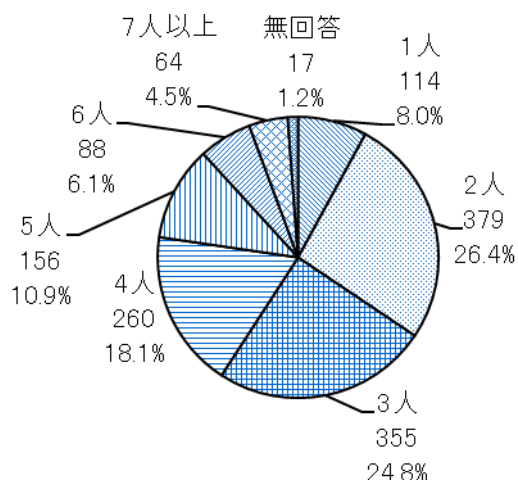
職業別では、「無職」が 370 件（25.8%）と最も多く、次いで「会社員」が 358 件（25.0%）、「専業主婦・主夫」が 233 件（16.3%）などとなっています。



## 7. 家族構成

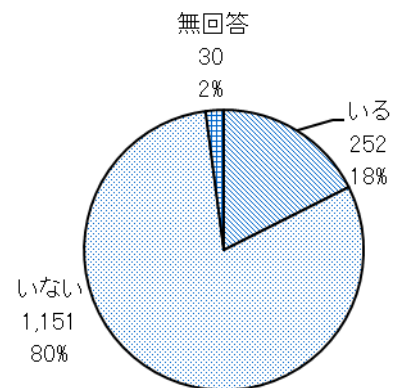
### (1) 世帯人員

世帯人員別では、「2人」が 379 件（26.4%）で最も多く、次いで「3人」が 355 件（24.8%）、「4人」が 260 件（18.1%）、「5人」が 156 件（10.9%）などとなっています。



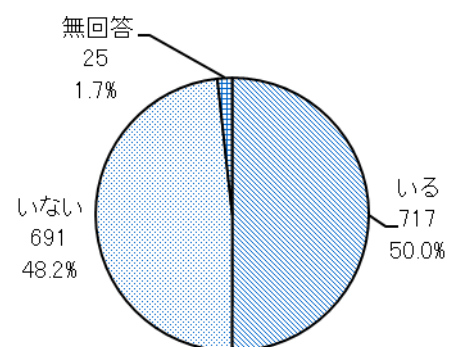
(2)子ども

養育中の子どもが「いる」とする回答が 252 件（17.6%）、「いない」が 1,151 件（80.3%）となっています。



(3)65 歳以上の高齢者

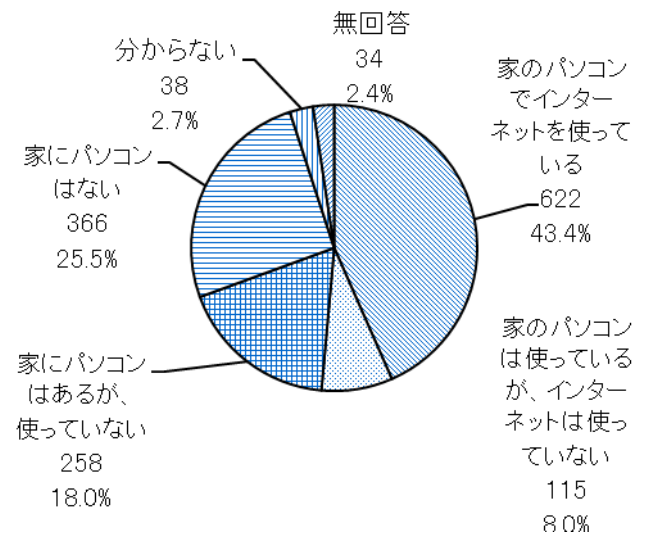
同居家族（回答者本人以外）に 65 歳以上の高齢者が「いる」とする回答が 717 件（50.5%）、「いない」が 691 件（48.2%）となっています。



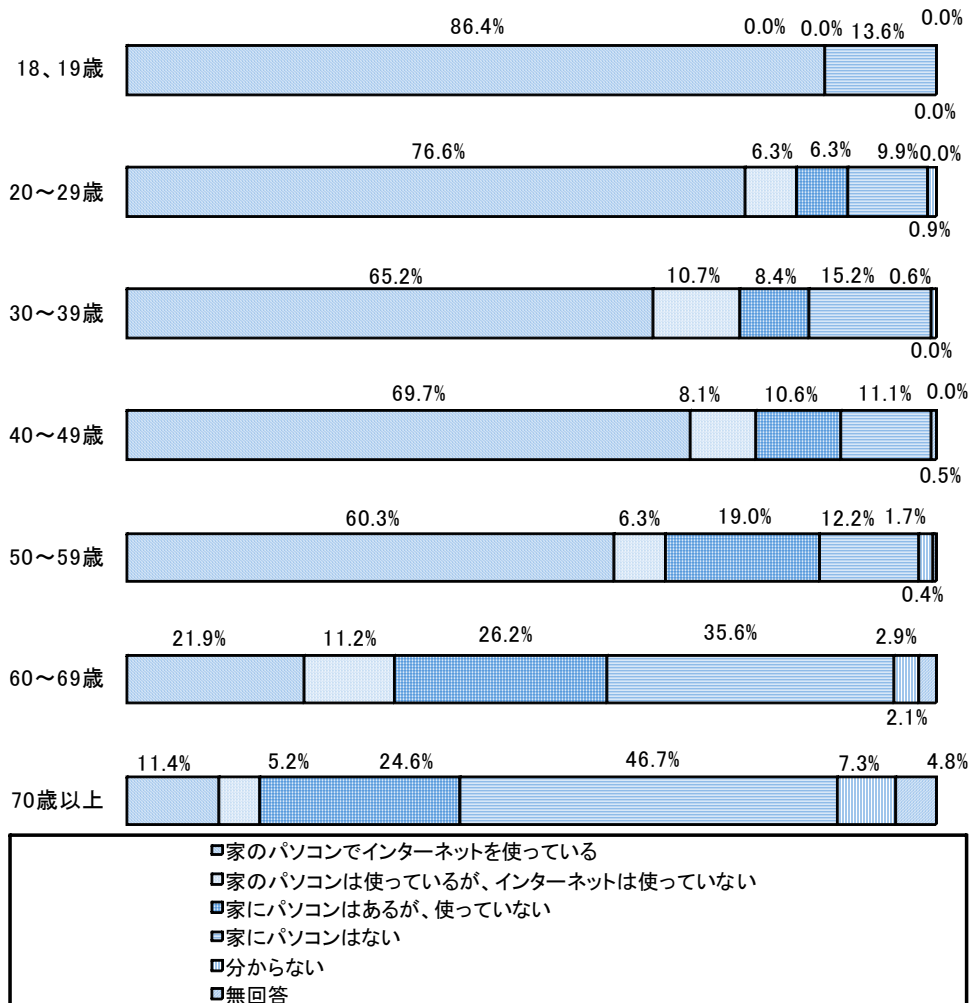
## 8. パソコンの所有と利用状況

パソコンの所有状況では、「家にパソコンがある」とする回答が 995 件 (69.4%) ありました。

また、「家のパソコンでインターネットを使っている」という回答が 622 件 (43.4%)、「家のパソコンは使っているが、インターネットは使っていない」という回答が 115 件 (8.0%) となっています。

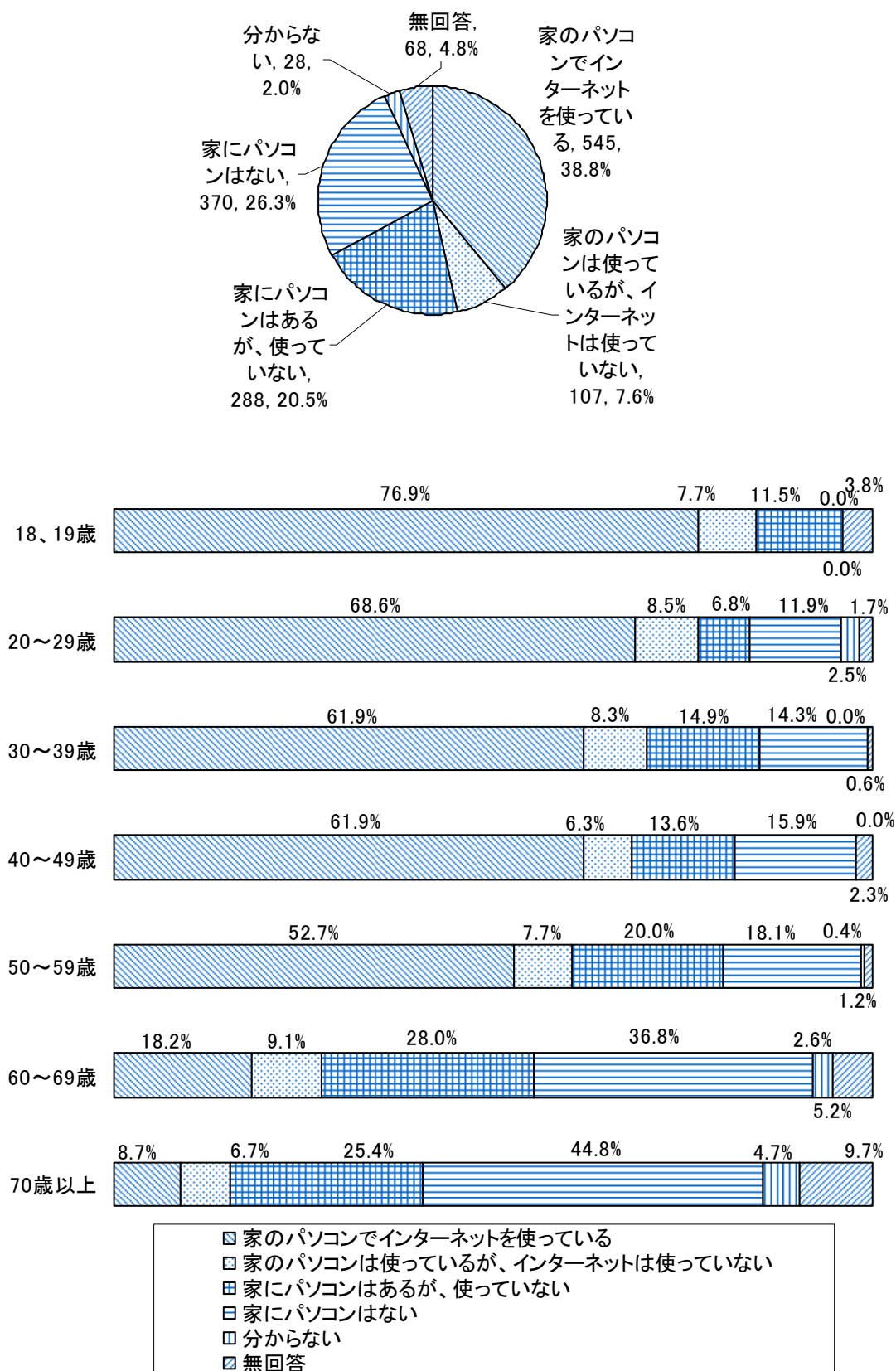


年齢別にみると、18 歳から 29 歳の回答者の 9 割近くが、「家のパソコンでインターネットを使っている」と回答しています。また、50 歳以上は年齢が上がるほど、「家にパソコンがある」「家のパソコンでインターネットを使っている」という回答の割合が減っています。



《参考》前回調査時よりも、全ての年代において「家のパソコンでインターネットを使っている」という回答の割合が増えています。

前回（平成20年調査結果）

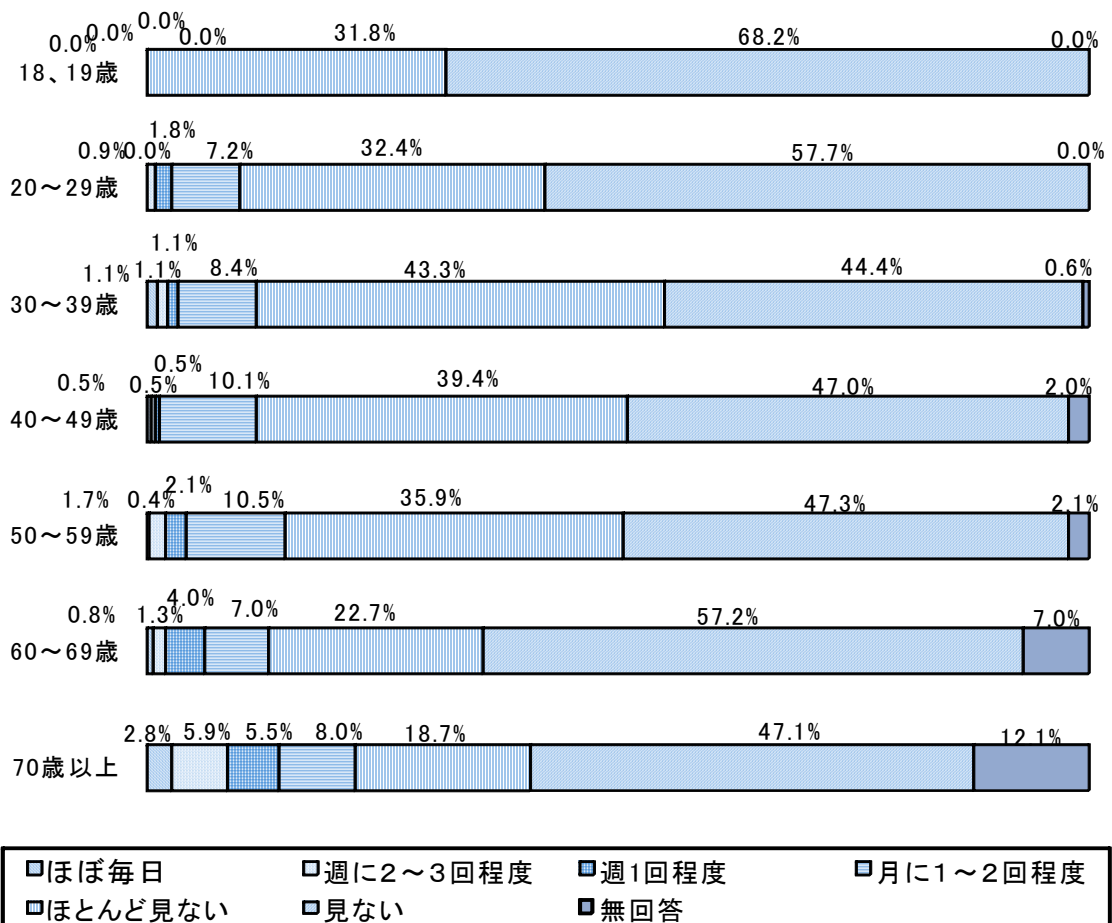
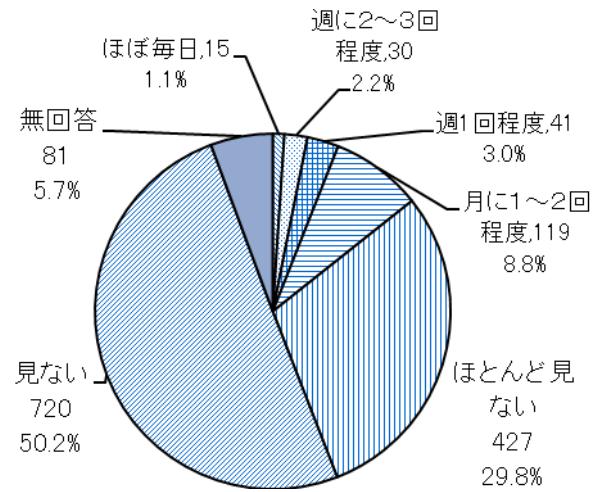


### 9. 笠岡市のホームページの閲覧状況

笠岡市のホームページをどの程度の頻度で閲覧しているかを尋ねたところ、「見ない」が 720 件（50.2%）で最も多く、次いで「ほとんど見ない」が 427 件（29.8%）、合計すると8割が市のホームページを閲覧していないと回答しています。

月に1～2回程度以上閲覧しているという回答は、205 件（14.3%）となっています。

年代別に見ると、若年層ほど、「見ない」「ほとんど見ない」と回答する割合が高い傾向があります。



### 10. 笠岡市のホームページに必要な情報

「笠岡市のホームページには、どのような情報が必要ですか。必要なもの全てに○をつけてください。」で、最も必要とされたのは、「市からのお知らせ」794件（55.4%）、「緊急・災害情報」680件（47.5%）、「手続きに関する情報」662件（46.2%）となりました。

